實習									
製藥化學	理論								
實習									
藥品鑑定	實習								
倫理學									
獨逸語		一〇	一〇	一〇	四	四	四	六	六
鑛物學									
物理學									
體操		三	三	三	三	三	三	三	三
計		二八	三〇	三一	三二	三三	三三	三五	三七

第三款　學年學期及休業

第一條　學年ハ九月十一日ニ始マリ翌年九月十日ニ終ル

第二條　學年ヲ分テ三學期トス第一學期ハ九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至リ第二學期ハ一月八日ヨリ三月三十一日ニ至リ第三學期ハ四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第三條　冬季休業ハ十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル二週間トシ春季休業ハ四月一日ヨリ同七日ニ至ル一週間トシ夏季休業ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル二ケ月間トス

第四條　日曜及次ニ掲載スル祭日祝日ハ休業トス

秋季皇靈祭　秋分日

神嘗祭　十月十七日

天長節　十一月三日

新嘗祭　十一月二十三日

孝明天皇祭　十二月三十日

紀元節　二月十一日

○第三款　學年學期及休業

春季皇靈祭

本校紀念日

第四款　入學及在學

第一條　入學ノ期ハ學年ノ始メトシ入學試驗ノ期ハ七月ノ始メトス

第二條　第一年級ニ入學セントスル者ハ品行方正年齡滿十七年以上ノ男子ニシテ左號ノ一ニ該當スル者ヲ要ス

一　中學校ヲ卒業シタル者

二　專門學校入學者檢定規程ニ依ル檢定ニ合格シタルコト

第三條　入學志願者醫學科藥學科豫定人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ施行ス

第四條　削除

第五條　入學志願者ニハ總テ體格檢查ヲ施行ス

第六條　選拔試驗ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ明治四十四年文部省令

第三號第壹條第一項ノ學科中數科目ニ就キ之ヲ施行ス

第七條　第二年級ニ入學セントスル者ハ第一年級ニ適當ナル資格ヲ備ヘ且ツ該級生徒ノ既ニ履修セシ諸科目ノ試驗ヲ受ケシメ其許否ヲ定ム第三年級以上モ亦之ニ準ス但本文ノ試驗ハ各級缺員ノ限リ之ヲ施行ス

第八條　依願退學セシ者及除名セラレタル者再入學ヲ出願スルトキハ詮議ノ上學年ノ始メニ於テ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　入學志願者ハ第一號書式ノ學校長ノ證明書第二號書式ノ願書ニ第二號書式ノ學校長ノ證明書第三號第十號ノ入學志願者ハ中學校長同第二號ノ入學志願者ハ高等學校入學豫備試驗合格證書若ハ試驗檢定合格證書及第四號書式ノ履歷書及試驗料戸籍謄本寫眞ヲ添ヘ差出

○第四款　入學及在學

第十條　第七條ノ入學試驗ヲ受ケントスル者ハ第三號書式ノ願書ニ第四號書式ノ履歷書ヲ添ヘ差出スヘシ

第十一條　試驗ヲ受クル者ハ試驗料トシテ第一年級ニ在リテハ金參圓第二年級以上ニ在リテハ每級更ニ金貳圓ヲ納ムヘシ但既納ノ試驗料ハ試驗ヲ受ケサルモ返付セス

第十二條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學料金壹圓ヲ納ムヘシ

第十三條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ第五號書式ノ在學證書ヲ差出スヘシ但用紙ハ本校ヨリ交付ス

第十四條　保證人ハ二人ヲ要ス內一人ハ千葉町ニ居住シ一家計ヲ立テ二人ハ父兄若ハ親戚ニシテ共ニ保證ノ責任ニ堪フヘキ成年以上ノ男子又ハ本校ニ於テ適當ト認ムル者ニ限ル

第十五條　保證人宿所ヲ轉シ或ハ改印スル等ノコトアルトキハ一週日以內ニ屆出ツヘシ

第十六條　保證人旅行セントスルトキハ相當ノ代理者ヲ定メ其旨屆出ツヘシ

第十七條　保證人死亡スルカ又ハ第十四條ニ揭クル資格ヲ失フトキハ直ニ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十八條　在學生ヲ分テ寄宿生及通學生ノ二トス

第十九條　新タニ入學シタル者ハ一箇年間寄宿舍ヘ入ルヘキモノトス

第二十條　寄宿舍ハ新入一年生ノ年少者ヨリ順次入舍セシム但自宅其他本校ニ於テ適當ト認ムル者ノ居宅ヨリ通學セントスル者ハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十一條　寄宿生停學ノ處分ヲ受ケタルトキハ停學中禁足ヲ命ス

第二十二條　寄宿舍ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三條　通學生ハ每學年ノ始メ其宿所ヲ生徒監ヘ屆出ツヘシ但

異動アルトキハ其都度届出ツヘシ

第二十四條　通學生旅行又ハ外泊一週間以上ニ亘ルトキハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ生徒監ヘ届出ツヘシ但一週間以内ト雖モ生徒監ニ於テ必要ト認ムルトキハ届出ヲ命スルコトアルヘシ

第二十五條　通學生疾病或ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ缺課スル者ハ當日又ハ翌日中ニ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ生徒監ヘ届出ツヘシ但二日以上缺課セントスル者又ハ其日限ヲ記シ又病氣缺課ニ週日ニ及フ者ハ主治醫ノ診斷書ヲ添フヘシ

書式(用紙美濃全紙)

第一號書式

私儀今般御校醫學科(藥學科)第一年級ヘ入學志願ニ付御許可被成下度仍テ別紙某學校長ノ證明書(試驗檢定又ハ高等學校入學豫備試驗合格證書)並履歷書及試驗料戸籍謄本寫眞相添ヘ此段相願候也

但選拔試驗アルトキハ外國語ヲ獨(英)語ニテ受驗致度候

現住所

本籍族(戸主ナラサレハ某何男或ハ第等)

年　月　日　何　某印

何年何月生

千葉醫學專門學校長何某殿

第二號書式

證明書

本籍族

何　某

何年何月生

何年何月何日當校何年級ヘ入學何年何月卒業

右ハ當校卒業生ニシテ柔貴校入學志願者ニ候處品行方正身體壯健ニシテ學術優等ノ者ニ有之候條此段證明候也

年　月　日　何某學校長　何　某印

千葉醫學專門學校長何某殿

第三號書式

私儀今般御校醫學科(藥學科)第何年級へ入學志願ニ付御試驗ノ上御許可被成下度仍テ別紙履歷書竝左記ノ試驗料相添此段相願候也

但外國語ハ獨(英)語ニテ受驗致度候

一金何圓

試驗料

年　月　日

現住所

本籍族(戶主ナラサレハ某何男或ハ弟等)

何　某印

千葉醫學專門學校長何某殿

第四號書式

履歷書

何年何月何日生

學業入門賞ニ關スル事

一何年何月ヨリ何年何月迄幾年間何地何學校ニ入リ又ハ何某ニ就キ何學修業其卒業セシ等級及用書何々

一何年何月何處ニ於テ何事ニ付賞罰ヲ受クル等

右之通有之候也

年　月　日

本籍族(戶主ナラサレハ某何男或ハ弟等)

何　某印

何年何月何日生

第五號書式

在學證書(本證書ニハ二錢ノ收印紙ヲ貼用スヘシ)

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則等固ク相守リ可申仍テ證書如斯候也

年　月　日

本籍族(戶主ナラサレハ某何男或ハ弟等)

某印

年　月　日　　　何　某印

何年何月何日生

私立千葉醫學專門學校長何某殿

前文何某在學中ニ係ル事件ハ拙者共一切引受可申仍テ保證候也

現住所

本籍族　職業

年　月　日　　保證人　何　某印

何年何月何日生

現住所

本籍族　職業父兄及親戚ノ關係

年　月　日　　保證人　何　某印

何年何月何日生

前書保證人何某ハ丁年以上ニシテ本町内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ

候也

年　月　日　　千葉縣千葉町役場印

前書保證人何某ハ丁年以上ニシテ本市區町村内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ候也

年　月　日　　何府縣何市區町村役所印

（本校ニ於テ適當ナリト認ムル者ハ奥印ヲ要セス）

第五款　特待生

第一條　學力優等品行方正ナル者ヲ選拔シテ特待生ト爲ス

第二條　特待生ハ授業料ヲ徴收セス

第三條　特待生ハ毎學年末ニ於テ教授會ノ議ヲ經テ校長之ヲ定ム

第四條　校長ニ於テ特待生ノ資格ヲ失フ者ト認ムルトキハ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ解除ス

第六款　休學

第一條　疾病ニ罹リ三箇月以上修學スルコト能ハスト思慮スルトキハ其學年間休學スルコトヲ得但第三學期ニ於テハ該學年間ノ休學ヲ出願スルコトヲ得ス

第二條　休學セントスル者ハ主治醫ノ診斷書ヲ添ヘ願出ツヘシ

第三條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ該學年間授業料ヲ免除ス但願書ヲ受理シタル日ノ屬スル學期分ハ此限ニ非ス

第四條　疾病平癒スルトキハ休學ヲ取消スコトヲ得此場合ニ於テハ該學期分ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始メヨリ原級ヘ入リ修學セシム但前條ノ場合ニ於テハ此限ニ非ス

第六條　休學ノ許可ハ同一學級ニアル間ハ一回ニ限ル

第七條　陸軍一年志願兵及豫備兵トシテ服役スル者ハ服役中休學シ滿期ノ後直ニ原級ヘ復スルコトヲ得但授業料ハ第三條第四條ニ準ス

第一節　第七款　退學及除名

第一條　疾病事故等ニ依リ退學セントスル者ハ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第二條　左ノ二項ニ觸ルヽ者ハ除名ス

第一項　正當ノ事故ナクシテ三箇月以上引續キ缺席スル者

第二項　出席常ナラサルコト甚シキ者

第三項　授業料未納ニ依リ停學ノ處分ヲ受クルコト一學年間二回ニ及ヒ尚ホ納メサル者

第四項　授業料寄宿料ノ未納三週日ニ至ル者

第五項　成業ノ見込ナキ者

第八款　懲罰

第一條　規則命令ニ違背スル者又ハ風紀ヲ害スル者ハ其輕重ニ依リ

○第七款　退學及除名　○第八款　懲罰

修シタル學科ニ就キ之ヲ行ヒ學年中履修シタル學科ニ就キ之ヲ施行スル

第三條　一學科ノ學年試驗成績ハ學期試驗成績ヲ參照シテ之ヲ定ム

第四條　一學科ノ授業第一學期若ハ第二學期間ニ完了スルモノハ該學期試驗ヲ學年試驗ニ充ツルヲ得又第一第二學期ニ亘リ完了スルモノハ前條ニ準シテ之ヲ定ム

第五條　學期學年試驗ノ全成績ハ甲乙丙丁戊ノ五種トシ各學科ノ成績ニ依リ之ヲ評決ス

第六條　每學年ノ終リニ於テ左表ノ定規ニ據リ及第落第ヲ判ス

學年試驗全成績	合格セサル學科ノ數	丙以下ノ學科ノ成績	處分
丙以上	一		及第

○第九款　試驗及進級

之ヲ處罰ス但處罰ハ德義ニ基キ之ヲ斷シ單ニ形迹ノミニ拘ハラサルヘシ

第二條　罰科ヲ分ツ戒飭、停學、放校ノ三種トス但他ニ明文アルモノハ其條規ニ據リ處分ス

第三條　戒飭ハ訓誨ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ停學ハ一學年以內敎室ニ入リテ學修スルヲ停メ放校ハ學校ヨリ放逐スルモノトス

第四條　放校ノ處分ヲ受ケタル者ハ復校ヲ許サス但滿一箇年ヲ經過シテ改悛ノ實アル者ハ詮議ノ上特免スルコトアルヘシ

第他ノ醫學專門學校ニ於テ放校セラレタル者ハ本校ニ入學ヲ出願スルトキハ亦前項ニ同シ

第　條　第九款　試驗及進級

第一條　試驗ハ學期試驗學年試驗ノ二トス

第二條　第一及第二學期ノ終リニ於テ該學期中履

同	一	丁	及第
同	一	戊	落第（學年又ハ學期試驗成績丙以上ナルトキハ）及第
同	二	丁	及第
同	二	戊	落第（二學科共學年又ハ學期試驗成績丙以上ナルトキハ）及第
同	三以上	丁	落第（學年試驗成績丁ノ學科數總學科ノ半數以下ナルトキハ）及第
丁以下			落第

第七條　疾病或ハ止ムヲ得サル事故アリテ試驗定日ニ出席シ難キトキハ當日マテニ其旨保證人ヨリ届出ツヘシ但疾病ニ由ル者ハ主治醫ノ診斷書ヲ添附シ事故ニ由ル者ハ其事由ヲ詳記スヘシ

第八條　學年試驗ニ缺席セシ理由止ムヲ得スト認ムル者ニシテ該試驗ノ科目ニ就テ得タル學期試驗成績第六條ニ揭クル表ニ照シ及第ノ格ニ該レハ追試驗ヲ受ケシムルコトアルヘシ但追試驗ハ次學年

ノ始メニ於テ之ヲ施行スヘシ

第九條　學年試驗若ハ其追試驗ヲ受ケサル者ハ進級ヲ許サス

第十條　學年試驗ニ落第シタル者ハ次學年ノ第一學期ヨリ原級ノ全科目ヲ履修セシム

第十一條　全學科ヲ卒リタル者ハ、第十款ノ規程ニ據リ卒業試驗ヲ施行ス

第十款　卒業試驗

第一條　卒業試驗ハ毎年九月第四週ノ月曜日ヨリ始メ其終期ハ受驗者ノ員數ニ從ヒ其都度之ヲ定ム

第二條　試驗ハ理論及實地ニ就キ施行シ第一及第二試驗ニ區別ス

醫學科

第一試驗科目

解剖學、組織學、生理學、病理解剖學、藥物學

○第十款　卒業試驗

第二部　第二試驗科目
藥用植物學、化學、分析學、生藥學
第一類　第二試驗科目
製藥化學、衛生化學、裁判化學、調劑學、藥品鑑定、藥局方
第三條　理論試驗ハ一箇乃至四箇ノ問題ヲ以テシ實地試驗ハ醫學科
第十於テハ標本模型屍體、及患者、藥學科ニ於テハ標本檢體製煉原料及
處方箋ニ就キ施行ス
第四條　第二試驗ハ三週日以內第三試驗ハ三週日以內ニ完了スルモ
第五條　第二試驗ヲ完了シタル後五日ヲ經テ之ヲ行フモ

ノトス但第二試驗ニ及第スルニアラサレハ第二試驗ヲ受クルヲ得
ス
第六條　卒業試驗ニ於ケル學科目ノ成績ハ學年試驗ノ成績ヲ參照シ
テ之ヲ甲乙丙丁ノ四種トシ丙以上ヲ及第トス
第七條　第一及第二試驗ニ於テ四學科目以上（藥學科第一試驗ニ於テ
ハ三學科目以上）丁ノ成績ヲ得タル者ハ落第トシ其以下タルトキハ
五日以內ニ該學科目ノ再試驗ヲ受ケシメ尙ホ丁ノ成績ヲ得タル學
科目アルトキハ落第トシ次回ノ卒業試驗期ニアラサレハ更ニ試驗
ヲ受ケシメサルモノトス但第一試驗ニ於テ既ニ及第シタル者ハ第
二試驗ノミヲ受ケシム
第八條　受驗生若シ疾病ニ罹リ試驗定日ニ出席シ難キトキハ第九款
第七條ノ手續ニ據リ其旨屆出ツヘシ但本文ノ場合ニ雖モ該試驗期
若ハ次回ノ試驗期ニアラサレハ試驗ヲ受クルコトヲ許サス

第九條　卒業試驗ニ於テ二回落第シタル者若ハ三タヒ試驗期ヲ經ルモ卒業セサルモノハ復タ試驗ヲ受クルコトヲ許サス

第十條　卒業試驗ニ及第シタル者ニハ左式ノ卒業證書ヲ授與ス

醫學科卒業證書式

何某本校成規ノ醫學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

官位勳爵位爵　姓　名（教官）印

解剖學　同

組織學　同

生理學　同

病理學　同

病理解剖學　同

藥物學　同

內科學　同

兒科學　同

精神病學　同

外科學　同

皮膚病及花柳病學　同

眼科學　同

產科學　同

婦人科學　同

衛生學　同

細菌學　同

法醫學　同

各敎授ノ證明ヲ認丁シ千葉醫學專門學校ノ印ヲ鈐シ予ノ名ヲ署ス

藥學科卒業證書式

何某本校成規ノ藥學科ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

藥用植物學	同	
化學	同	
分析學	同	
生藥學	同	
製藥化學	同	

官位勳學位爵　姓　名(教官)印

年　月　日　校印

番號

官位勳學位爵　姓　名(長校)印

衛生化學	同	
細菌學	同	
裁判化學	同	
調劑學	同	
藥品鑑定	同	
藥局方	同	

各教授ノ證明ヲ認了シ千葉醫學專門學校ノ印ヲ鈐シ予ノ名ヲ署ス

年　月　日　校印

番號

官位勳學位爵　姓　名(長校)印

第十一條　卒業生ハ其修了シタル學科ニ隨ヒ醫學得業士藥學得業士ト稱スルコトヲ得

元高等中學校醫學部卒業生ハ卒業後三箇年ノ後學力檢定ヲ經テ醫學得業士藥學得業士ト稱スルコトヲ得

第十一款　授業料

第一條　授業料ハ一學年醫學科、藥學科共金貳拾五圓トシ左ノ三學期ニ分納セシム

第一學期	金十圓	納期日　九月十一日ヨリ同月廿四日マテ
第二學期	金七圓五十錢	納期日　一月八日ヨリ同月廿一日マテ
第三學期	金七圓五十錢	納期日　四月八日ヨリ同月廿一日マテ

第二條　授業料ハ課業ヲ缺キ又ハ停學ヲ命セラレタル者ト雖モ之ヲ減免セス

第三條　一定ノ期日內ニ於テ授業料ヲ納付セサル者アルトキハ未納

中停學ヲ命シ之ヲ保證人ニ通知ス其未納ニ週日ニ至ル者ハ第七款第二條第四項ニ據リ處分ス

第十二款　圖書器械及標本

第一條　圖書器械及標本ハ教授上ノ用ニ供スル

第二條　校長及事務員ニ於テ公務上必要ノ圖書ハ其詰所限リ使用スルコトヲ得

第三條　教官ハ其擔任學科ノ圖書ニ限リ參考用トシテ借受スルコトヲ得

第四條　助手ハ所屬學科ノ圖書ニ限リ擔任教官ノ認諾ヲ經テ之ヲ借受スルコトヲ得

第五條　圖書ヲ借受スル者ハ定式ノ證書ヲ圖書課ヘ差出スヘシ

第六條　借受シタル圖書ハ他人ヘ轉貸スルコトヲ許サス

第七條　借受シタル圖書ハ夏期休業前ニ於テ一時返納スヘシ但時宜

○第十一款　授業料　○第十二款　圖書器械及標本

ニ依リ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第八條　借受シタル圖書ヲ毀損シ若ハ紛失シタルモノハ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシムヘシ

第九條　生徒ノ圖書閱覽ハ總テ圖書閱覽室ノ規定ニ據ラシム

第十條　器械及標本ハ該學科擔任敎官之ヲ監理ス

第十三款　圖書閱覽室

第一條　圖書閱覽室ハ職員及生徒參考ノ爲メ圖書ヲ閱覽スル所トス

第二條　閱覽用ノ圖書ハ主幹ノ許可アルニアラサレハ之ヲ室外ニ携出スルコトヲ得ス

第三條　圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書課ノ簿冊ニ書名番號姓名年月日ヲ詳記捺印シ閱覽終レハ直ニ返納スヘシ

第四條　圖書閱覽室ハ祭日祝日及十二月二十六日ヨリ翌年一月五日マテヲ除ク外毎日午前八時ニ開キ午後九時ニ閉ツ

第五條　圖書閱覽中ハ靜肅ヲ旨トシ喫烟音讀雜談等ヲ爲シ他ノ障礙トナル擧動アルヘカラス

第六條　圖書閱覽室ヘハ圖書筆墨紙類ヲ除クノ外物品ヲ携帶スヘカラス

第七條　借覽ノ圖書ヲ毀損シ若ハ汚染シタルトキハ修繕ヲ加ヘシメ又ハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシム

第十四款　生徒心得

第一條　本校生徒タル者ハ明治二十三年十月三十日敎育ニ關シ下シタマハリタル勅語ヲ銘心服膺シテ須臾モ忽忘スヘカラス

第二條　本校生徒ハ左ノ五項ヲ遵守シテ善美ナル校風ヲ發揚スヘシ

第一項　智德ヲ涵養シ身體ヲ健全ニシ立身報國ノ基ヲ建ツヘキ事

○第十三款　圖書閱覽室　○第十四款　生徒心得

第二項　校則ヲ守リ師長ヲ敬ヒ學友ヲ親愛スヘキ事
第三項　信義禮讓ヲ重シ公德ヲ養フヘキ事
第四項　志操ヲ固クシ言行一致ヲ期スヘキ事
第五項　常ニ威儀ヲ正シ廉恥ヲ勵ムヘキ事

第十五款　服制

第一條　生徒ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ
第二條　制定ノ被服左ノ如シ但明治三十四年九月以前入學ノ生徒ハ其卒業ニ至ルマテ帽子及紐釦ノミヲ改メ從來ノ制服ヲ着用スルコトヲ得

帽	帽章	冬服	夏服	外套
製式	角形	香蒲紋形ノ内ニ丸形鐙ノ字	香蒲紋形ノ内ニ丸形鐙ノ字	
品質	羅紗或ハヘルセル	唐廣形	唐廣形	
紗眞	羅紗	頭巾及後帶付		
鈕	釦	金色	金色	金色
横十章	細眞線線二條			徽章ハ帽章ニ同シ

色　黒　金　紺　鼠　黒

第十六款　寄宿舍

第十條　寄宿舍ハ勤學ノ便ヲ計リ生徒ノ美風ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　寄宿生ハ衛生ニ注意シ清潔ノ習慣ヲ養フヘシ
第三條　寄宿舍ハ九月十一日ニ開キ七月十日ニ閉ツ
第四條　晨起就寢消燈喫飯入浴ノ時限ハ日ノ長短ニ依リ時々之ヲ定ヌ冬季ニ在リテハ入浴ヲ隔日トス
第五條　晨起時限後三十分就寢時限直ニ人員檢查ヲ爲スヲ以テ各自席ニ在リテ檢查員ノ巡視ヲ待ツヘシ但臨時檢查ヲ爲ス事アルヘシ

第六條　生徒監又ハ其代理者ハ時々各室ヲ巡檢シ必要ト認ムルトキハ寄宿生ノ書笈或ハ衣樞等ヲ點檢スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ室長ヲ立會シムルコトアルヘシ

第七條　晨起ヨリ點燈マデハ制服ヲ着シ威儀ヲ正クスヘシ但和服ヲ用ヰルトキハ袴ヲ着クヘシ

第八條　外出ノ節ハ制服ニ限ル病氣事故ノ爲メ生徒監ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルモノト雖モ必ス袴ヲ着シ倒帽ヲ戴クヘシ

第九條　寄宿舍ニ關スル願届ハ生徒監宛ニ認メ病氣其他止ムヲ得サル場合ノ外ハ本人自ラ持參スヘシ

第十條　授業ニ缺席スル者ハ前以テ生徒監ヘ届出ツヘシ

第十一條　外出時間及歸舍門限ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條　外出下宿等ニ關シテハ左ノ件々ヲ守ルヘシ

一　外出中急病ニ罹ルカ又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ門限ニ後ルトキハ歸舍ノ節其姓名ヲ門衛ニ告ケ置キ翌日中ニ其事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

二　前項ノ場合ニ於テ若シ外泊スルトキハ其事由宿泊所及歸舍ノ時刻ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

三　病氣其他止ムヲ得サル事故ニ依リ歸鄉旅行又ハ下宿セント欲スル者ハ其事由及日限ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但病氣下宿ハ診斷書ヲ添フヘシ

四　疾病ニ罹リ一週日ヲ經テ尙ホ癒ヘサルトキ或ハ重症若ハ傳染病ナルトキハ直ニ保證人ニ引渡シ下宿療養ヲ爲サシム

第十三條　寄宿舍ニ屬スル諸器物ヲ毀損シタルトキハ速ニ届出ツヘシ其情狀ニ因リ辨償セシムルコトアルヘシ

第十四條　寄宿料ハ一箇月金九十錢トシ食料ハ時價ニ隨ヒ別ニ之ヲ定ム但寄宿料ハ入舍退舍ノ月ニ限リ一日金參錢ノ割ヲ以テ徵收ス

第十五條　寄宿料ハ本校收入官吏ニ納付スヘク食料ハ係員ノ檢證ニ憑リ生徒各自賄方ニ支拂フヘシ其納付及支拂日ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條　定日ニ於テ寄宿料ヲ納付セサル者又ハ食料ヲ支拂ハサル者ハ保證人ニ通知ス但寄宿料未納三週日ニ至ル者ハ第七款第二條第四項ニ據リ處分ス

第十七條　此規則又ハ時々ノ告示ニ違背スル者ハ情狀ニ依リ譴責、禁足、退舍ヲ命ス

附則

此校則ニ明文ナキモノハ本校教授會ノ議ヲ經テ臨機ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

○第五章　細則

第一　生徒心得

第一條　校長以下職員ニ對シテハ勿論生徒互ニ相逢フトキト雖モ脫帽敬禮ヲ爲スヘシ

第二條　校舍內外ヲ問ハス常ニ威儀ヲ正シ生徒ノ體面ヲ汚ス如キ行爲アルヘカラサルハ勿論尙ホ左ノ各項ヲ嚴守スヘシ

第一項　酒樓ニ登ルハ勿論何レノ場所ニ於テモ他人ト共ニ飮酒スヘカラス

第二項　貸座敷、待合、茶屋、寄席、劇場、其他風俗ヲ害スル虞アル場所ニ立入ルヘカラス

第三項　金錢貸借ハ勿論商品ノ代金若ハ下宿料ヲ延滯シ或ハ質物ヲ爲スヘカラス

第四項　和服ヲ着流シ或ハ制定以外ノ帽ヲ戴クヘカラス

第三條　數人合同シテ强テ意見ヲ申立又ハ合同缺課ヲ爲スヘカラス

第四條　建造物器具器械等ヲ毀損若ハ汚染スヘカラス若シ之ヲ爲シタルトキハ賠償セシムルコトアルヘシ

第五條　校内ニ在リテハ控所ノ外飲食及喫烟スヘカラス

第六條　授業ノ始終ハ號鐘ヲ以テ報スル

第七條　始業ヲ報セハ直ニ教室ニ入リ靜肅座位ニ着キ教員ノ出席ヲ待ツヘシ授業終ルトキハ教員退席スル後靜カニ退出スヘシ

第八條　教室着席ハ席次番號ニ從ヒ末席者ヲ一號トシ順次上席ニ及ホス自己ノ席ヲ離レ他人ノ番號ニ着席スルモノハ缺席者ト見做ス

第九條　許可ヲ證ナクシテ和服ヲ着用スルモノハ教室ニ入ルコトヲ許サス削除

第十條　教室ニ在リテハ帽子外套襟巻ノ類ヲ着スヘカラス但教室内ニ携帶スルハ苦シカラスト雖モ必ス之ヲ座右ニ置クヘシ

第十一條　來賓又ハ校長ノ教室ニ臨ムトキハ教員ノ指揮ヲ待テ一齊ニ起立敬禮スヘシ

第十二條　教室ハ勿論廊下控所タリトモ唾、唉ヲ吐キ烟草ノ吹殻ヲ棄ツル等汚穢ヲ所爲又ハ危險ノ虞アルコトヲ爲スヘカラス

第十三條　外出ノ節ハ制服ヲ着用スヘシ若シ和服ヲ着スルトキハ袴ヲ着ケ制帽ヲ戴クヘシ

第十四條　十月一日ヨリ五月三十一日マテハ冬服ヲ六月一日ヨリ九月三十日マテハ夏服ヲ着用スヘシ

第十五條　夏服着用期中ハ略帽ヲ用ユルコトヲ得但略帽ハ麥藁製ニシテ鉢巻ヲ黒色トシ制定ノ帽章ヲ附スヘシ

第十六條　削除

第十七條　削除

第十八條　集會ニ就テハ左ノ各項ニ從フヘシ

第一項　學術會其他ノ會ヲ創立セントスルトキハ願書ニ規則書ヲ添ヘ差出シ校長ノ認可ヲ受クヘシ

第二項　臨時集會ヲ爲サントスルトキハ其都度生徒課ニ申出指揮

ヲ受クヘシ

第三項　集會ハ校内ニ於テスヘシ

第四項　集會ノ爲メ場所竝器具ヲ借用セントスルトキハ其旨生徒

主任ニ申出指揮ヲ受クヘシ

第五項　學術ニ關スル演説討論ヲ爲サントスルトキハ演題及討論

題ヲ生徒課ニ届出ツヘシ

第六項　許可ヲ得ルニ非ラサレハ校ノ内外ヲ問ハス多衆集合スヘ

カラス

第十九條　下宿所ノ門柱又ハ見易キ所ニ左式ノ標札ヲ掲クヘシ

長五寸

巾二寸

千葉醫學專門學校生徒

何

某

第二十條　公事ノ示達及報告等ハ速カニ了得スヘキモノナレハ時々

揭示ニ注意スヘシ但揭示ハ一週日ヲ經レハ一般了得シタルモノト

シ之ヲ取除クコトアルヘシ

第二　寄宿舍

第一條　寄宿舍ニ自修室及寢室ヲ置ク但各室人員ノ配置ハ生徒監ニ

於テ便宜之ヲ定ム

第二條　各室ニ室長一名ヲ互選セシメ室内ノ整理ヲ爲サシム

第三條　室長ノ任期ハ一學期間トシ再選スルコトヲ得但當選者ハ自

己ノ便宜ヲ以テ辭任スルコトヲ得ス

第四條　在舍生ハ左ノ件々ヲ守ルヘキモノトス

一　寄宿舍規則ヲ遵守スルコト

二　靜肅ヲ守リ總テ他人ノ勤學ニ妨害アル所行ヲ爲サヽルコト

三　午後八時後ハ一切音讀セサルコト

四　妄リニ他人ノ室ニ入ラサルコト

五　就褥後ハ他人ノ安眠ヲ妨クル擧動ヲ爲サヽルコト

六　常ニ室内ヲ整頓清潔ニ注意スルコト

七　自修室ニハ日常要用ナラサル雜品ヲ置カサルコト

八　自修室及寢室ハ毎日出校マテニ順番ヲ以テ掃除シ特ニ土曜日ハ大掃除ヲ爲スヘシ

九　唾、咳、吹聲ニ注意シ舍内ヲ汚穢セサルコト

十　外出スル者ハ自ラ生徒監室ニ至リ門鑑ヲ受取リ門衛ニ渡シ歸舍ノ節之ヲ返納スルコト

十一　雜誌小說ヲ閱覽シ又ハ碁、將碁、骨牌、音曲等ノ遊戲ヲ爲サヽルコト

十二　安ンニ寢室ニ入ラス就褥ハ一定ノ所ニ於テスルコト

十三　來訪者ト面會ハ必ス應接所ニ於テスルコト

十四　當直火ノ元ニ注意シ消燈後ハ籍ニ點火セサルコト

十五　火藥其他危險物及採温ノ器具ヲ室内ニ入レサルコト

十六　寢室内及廊下ニ於テハ喫烟セス又摺附木ヲ使用セサルコト

十七　安ンニ寢室ニ入ラス又私ニ之ヲ使役セサルコト

第五條　食事ニ關シテハ左ノ條々ヲ守ルヘシ

第一條　安ンニ食堂ニ入ラス又食物ノ良否ニ關シ各自直接ニ賄方ニ談スヘカラサルコト

二　病氣ノ他食堂外ニ於テ食事ヲ爲サヽルコト

第二條　飲用ヲサルヨト前日ニ申出ツルコト

三　粥又ハ麥飯ヲ望ム者ハ其前日午後五時マテニ係員ニ申出ツルコト

第三條　一日以上休食スル者ハ其日數ニ應シ食料ヲ減ス此場合ニ於テハ前日午後五時マテニ其旨係員ニ届出ツルコト

第四條　食堂ノ器物ヲ毀損セシ時ハ速ニ辨償スルコト

第五條　食堂

第六條　此細則ニ背クモノハ規則第十七條ノ制裁ヲ加ヘラルヽモノトス

第三章　監督

第一條　各學級ニ監督ヲ置キ教授ヨリ特選シテ其職務ニ當ラシム但藥學科ハ全體ヲ以テ一級ト見做ス

第二條　監督ハ校長ノ指揮ヲ受ケ教頭生徒監ヲ助ケ擔任學級ノ生徒ヲ統率シ行狀及勤惰ニ注意シ兼ヲ教室内ノ秩序清潔ヲ保持セシムルコトヲ務ムヘシ

第三條　監督ハ生徒ノ品行學業健康ニ留意シ父兄及保證人ト連絡シテ豫定ノ學資外ニ要スル費用ノ適否ヲ監査シ其必要ト認ムルモノニ對シテハ證明ヲ與フヘシ

第四條　監督ハ生徒ノ怠惰不行狀ナル者アルトキハ之ヲ訓戒シ尚ホ改悛ノ實ナキ者ハ生徒監ヲ經テ狀ヲ具シ校長ニ申告スヘシ

第五條　監督ハ教室ノ整理授業ノ方法及生徒取締ニ就キ意見アルトキハ教頭又ハ生徒監ニ協議ノ上校長ヘ具申スヘシ

第六條　各學科教官ハ擔任學級ノ監督ヲ補助シ監督事故アルトキハ上席教官之ヲ代理スヘシ

第七條　各學科教官ハ常ニ生徒ノ勤惰行狀ニ注意シ若シ怠惰不行狀ノ者アルトキハ監督ニ申告スヘシ

第八條　各學科教官ハ其擔任ノ學科ニ就キ毎月別紙書式ノ生徒勤惰表ヲ作リ翌月五日マテニ生徒課ニ報告スヘシ

第九條　體操科擔任教官ハ特ニ生徒ノ風紀取締ノ任務ニ從事スヘシ

第十條　體操科擔任教官ハ時々通學生ノ宿所ヲ巡視シ其實況ヲ生徒監ヲ經テ校長ニ申告スヘシ

生徒監	書記	年 月 分	擔任教官 ㊞
		組	第 學期
		級	何年

學科	何科
授業時數	何時
生徒ノ人員	何人
一日平均缺席數	何人
出席者ノ數	何人
常ニアラサル出席者ノ數	何人
同上ノ姓名	何某、何某、何某、何某、何某

○第四　校務分掌

第十一條　教務課ニ教頭教員書記圖書課ニ主幹圖書記ヲ置ク

第十二條　教務課ニ於テハ生徒ノ入學轉學退學及ヒ卒業ニ關スル事務ヲ掌ル

第十三條　庶務課ニ於テハ文書ノ收發及ヒ保管會計ニ關スル事務ヲ掌ル

第十四條　庶務課ニ分課庶務係會計係ヲ置キ各主任ヲ置ク

第十五條　各係主任ハ書記ノ內ヨリ校長之ヲ選任ス

第十六條　各係主任ハ校長ノ指揮ヲ受ケ各其事務ヲ分掌ス

第十七條　課員及係員ハ上官ノ命ヲ承ケ各其職務ニ從事ス

第十八條　校務中各課各係ニ關係スルモノハ合議ヲ經ヘシ

第十九條　各課係ニ於テ擔任スヘキ要項左ノ如シ

一　教務課ニ關スル事

二　生徒ノ募集ニ關スル事

三　教官ノ出勤調査ニ關スル事

四　教室及日課配當ニ關スル事

五　教頭及主幹ハ教授ヲ分チ特殊ノ外其職務ノ常務ヲ

六　教頭ハ校長ノ指揮ヲ承ケ教務ヲ整理ス

七　主幹ハ校長ノ指揮ヲ承ケ圖書ヲ幹理ス

八　生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ生徒ノ取締ヲ掌リ兼テ寄宿舍ヲ監理ス

四　生徒ノ入學休學退學ニ關スル事
五　試驗及成績ニ關スル事
六　生徒ノ進級及卒業ニ關スル事
七　特待生ニ關スル事
八　陸軍衛生部依託生徒ニ關スル事
九　卒業生ニ關スル事
十　行軍演習及修學旅行ニ關スル事
十一　屍體解剖ニ關スル事
十二　本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事
十三　此他教務ニ關スル一切ノ事項

生徒課

一　生徒ノ學籍ニ關スル事
二　生徒ノ取締ニ關スル事

三　生徒ノ宿所調ニ關スル事
四　生徒ノ出席及缺席調査ニ關スル事
五　生徒ノ衛生ニ關スル事
六　生徒ノ身體檢査ニ關スル事
七　生徒ノ願届證明ニ關スル事
八　生徒ノ處罰ニ關スル事
九　生徒ノ控所取締ニ關スル事
十　寄宿生ノ入退舍及下宿旅行等ニ關スル事
十一　寄宿料及食料ニ關スル事
十二　賄方取締ニ關スル事
十三　寄宿舍詰備人ノ取締ニ關スル事
十四　寄宿舍内ノ警備ニ關スル事
十五　本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事

十六　此他生徒寄宿舍ニ關スル一切ノ事項

十四　庶務課ノ内ノ

十二　庶務係

十二　校長官印及校印ヲ管守スル事

十一　校則ニ關スル事

三　儀式ニ關スル事

四　寄附願ニ關スル事

五　各課起案ノ回議ヲ審査スル事

六　職員ノ進退及服務ニ關スル事

七　職員ノ願屆ニ關スル事

八　事務員以下ノ出勤簿管理調査ニ關スル事

九　宿直ニ關スル事

十　文書往復及接受ニ關スル事

十一　一覽年報官報々告ニ關スル事

十二　生徒徵兵ニ關スル事

十三　本巡視以下常備大ノ進退及取締ニ關スル事

十四　檢內ノ整備及取締ニ關スル事

十五　參觀人取扱ニ關スル事

十六　本係ニ屬スル備附物品ヲ管守スル事

十七　他ノ生管ニ屬セサル一切ノ事項

一　會計係

一　資金ニ關スル事

二　豫算及決算ニ關スル事

三　物品購入及賣却ニ關スル事

四　金錢ノ收支ニ關スル事

五　物品ノ出納及保管ニ關スル事

六　土地建物ニ關スル事項
七　什器ノ備入及取締ニ關スル事
八　樹木ノ手入草取及掃除ニ關スル事
九　此他會計ニ關スル一切ノ事項

一　圖書課ニ屬スル事
二　圖書印ヲ管守スル事
三　和漢圖書ノ保管ニ關スル事
四　圖書原簿貸付ニ關スル事
五　圖書室及閱覽室ノ取締ニ關スル事
六　本課ニ屬スル備付物品ヲ管守スル事
七　此他圖書ニ關スル一切ノ事項

第五章　教授會

第十一條　教授會ハ本校教授ヲ以テ之ヲ組織シ校長之カ議長トナル

第十二條　教授會ハ校長ノ諮詢ニ應ジ左ノ事項ニ就キ審議スルモノトス

一　學科課程ニ關スル事項
二　授業及試驗ニ關スル事項
三　生徒ノ取締及懲罰ニ關スル事項
四　前各項ノ外校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十三條　必要アル場合ニハ助教授及囑託講師其他ノ職員ヲシテ教授會ニ列席セシムルコトアルヘシ

第十四條　教授會ハ每月第三土曜日ニ之ヲ開ク

第十五條　教授會ニ委員若干名ヲ置キ教頭生徒監及教授一名ヲ以テ之ニ充ツ

但教授十名ハ教授會ノ互選トシ其任期ハ一箇年トス

第十六條　臨時ニ起ル件ニシテ其事ノ小ナルモノ又ハ先例アルモノハ委

員會ニ附シ其決議ニ據リ處分ス此場合ニ於テハ次回教授會ニ報告スルモノトス

第七條　教授會ハ教務課ニ於テ之ヲ整理ス

第八條　第六條ノ外國人特別入學規程細則ヘ

第九條　第六條ノ外國人ニシテ本校所定學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケンコトヲ出願スルモノアルトキハ志願者ノ學力ヲ試驗シ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但試驗料ハ徴收セス

第二條　前條ノ志願者ニシテ本邦中學校卒業ノ學力アリト認ムルトキハ特ニ無試驗入學ヲ許可ス

第三條　入學志願者ハ入學願書ニ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介狀及履歷書ヲ添附シ學校長ニ出願スヘシ

第四條　本則ニ依リ入學ノ許可ヲ得タルモノハ保證金ヲ要セス又授業料及入學料ハ時宜ニ依リ免除スルコトアルヘシ

第五條　本則ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスルトキハ試驗ヲ施シ擔任教授ノ證明ヲ認メシ之ヲ附與ス

第六條　本則ノ外總テ本校規則ヲ適用ス

第六章　職員

校長　勅任

教授

兼校長　從五位勳五等醫學士　狹生錬造（靜岡縣平民）

從五位勳五等醫學士　狹生錬造（靜岡縣平民）

從五位勳五等醫學士　三輪德寬（東京府平民）

從五位勳六等醫學士　筒井秀三郎（千葉縣平民）

從五位勳六等醫學博士　井上善次郎（香川縣平民）

從五位勳六等醫學士　筒井八百珠（三重縣士族）

正六位藥學士　古屋恒次郎（千葉縣平民）

外科學、校長代理圖書主幹　從五位勳六等醫學博士　三輪德寬

病理學　從五位勳六等醫學士　筒井秀三郎

內科學　教頭　從五位勳六等醫學博士　井上善次郎

外科學　兼生徒監・從五位勳六等醫學士　筒井八百珠

藥用化學、裁判化學、製藥化學　正六位藥學士　古屋恒次郎

（外國留學中）

○第六　外國人特別入學規程細則　○第六章　職員

化學、分析學、細菌學　從六位　平野雄貫　靜岡縣士族

解剖學、組織學　陸軍二等軍醫正七位醫學得業士　（應召中）　抑田德郎　千葉縣平民

產科學、婦人科學、兒科學　正七位　松井武丞郎　千葉縣士族

內科學、藥物學　正七位醫學士　今淵恒壽　青森縣士族

助教授　正七位醫學士　長尾美知　千葉縣平民

鑛物學、藥局方、藥品鑑定、調劑學、製藥化學實習　大島秀人　群馬縣士族

植物學、生藥學、衛生化學　藥學得業士　關口愛弁　東京府士族

兵式體操、生徒課員兼教務課員　從八位　中田萬吉　東京府士族

兵式體操　兼書記　新井榮次郎　千葉縣士族

第六章　書記

倫理學、獨逸語　從六位　內田周平　靜岡縣平民

眼科學　正七位ドクトル、メヂチーネル醫學士　日高昻　宮崎縣士族

細菌學　傳染病研究所部長正六位醫學博士　淺川範彥　高知縣士族

生理學、衛生學　醫學得業士　酒井卓造　埼玉縣平民

物理學　縣立千葉中學校教諭　櫛引純二郎　青森縣士族

獨逸語　縣立千葉病院司療醫　醫學得業士　鴻海藏　東京府平民

眼科學實習　大谷謙三郎　東京府士族

獨逸語生徒課員　大谷基輔　東京府士族

生徒監　從五位勳六等醫學士　筒井八百珠　三重縣士族

書記

庶務係主任、兼教務課員、生徒課員　從七位勳八等　石井幹　千葉縣士族

會計係主任、兼圖書課員　秋庭佐太郎　千葉縣平民

教務課員、衆生徒課員、庶務係員
會計係員
雇
圖書課員兼庶務係員
教務課員兼會計係員
庶務係員兼教務課員、生徒課員
藥學科助手
病理學助手
藥學科助手
衛生學、法醫學助手
解剖學、組織學兼衛生學、法醫學助手

○第七章　生徒

醫學科生徒

助教授　新井榮次郎　千葉縣士族
日暮一雄　千葉縣平民
綿貫清治郎　千葉縣平民
落合文獻　千葉縣士族
鹿倉晉次郎　千葉縣平民
小山謙吉　千葉縣士族
河合軍藏　熊本縣士族
黒川政吉　千葉縣平民
高橋五男也　秋田縣平民
橋本政喜　熊本縣平民

○第七章　生徒（□特待生　○陸軍衛生部依託生徒）

卒業試驗受驗生（九十四人）

長野　松本禎三郎　新潟　藤田貞固　東京
佐賀　青池忠一　茨城　大江卓郎　鳥取
長野　矢橋留吉　新潟　古澤慶三郎　群馬
奈良　小林悦太郎　埼玉　柳下三之助　靜岡
□鹿兒島　藤宗誠　埼玉　○吉岡利光　山梨
愛媛　三四五　新潟　仁　埼玉　○佐藤一
秋山光貞　山梨　中山復四郎　東京　野口君平　東京
○奈良　井源道　東京　高野安　長野　平賀英三　長野
三須洋秀　埼玉　本間周敬　新潟　天野一麿　埼玉
齋沼博　福島　佐藤貞廣　靜岡　莊司秋次郎　宮城
西山千春　岐阜　藤田寛　東京　大島謙吉　東京
德田壽太郎　鳥取　飯田琢磨　岡山　金子巖男　新潟
高安宗春　千葉　安田知三　埼玉　水沼喜彥　栃木
福田政治　千葉　大塚儀一　岐阜　井上文哉　千葉
片野後助　神奈川　石川恭藏　山口　高橋尚三　東京
本間夢夫　茨城　染原愛三郎　埼玉　雨甲斐新平　茨城
○大沼不可止　栃木　安村光亨　高知　今瀧昌　茨城

荒井與市　東京
小口村司　長野
○中山三磨千　千葉
古川順二郎　千葉
淺野秋三郎　茨城
○宮崎金藏　東京
宮下一郎　埼玉
原　榮作　靜岡
安藤貫應　神奈川
新橋候一　千葉
伊藤祐次　東京
白田虎四郎　茨城
栃本重忠　茨城
川崎信夫　茨城
渡邊昇　靜岡
助川隆之介　茨城
木全清　東京
宮本八郎　靜岡
都築兵庫　靜岡
長谷川溫敬　新潟
○伊島正二　鳥取
藤田玄齋　靜岡
小河原賢次郎　鳥取
茂木德音　長野
廣瀨珠山　千葉
萩原求　熊本
西山里吉　三重
功力亮平　山梨
久保木一健　千葉
一色保雄　茨城
岩瀨晉德　島根
林常藏　千葉
益田甚吾　鳥取
○高倉功　新潟
三村榮　鳥取
小澤重雄　福岡
井上明　香川
佐竹逸藏　長野
平尾新八　神奈川
別所周造　山梨
鳥海佳一　千葉
中澤直治　山梨
遠藤良筏　神奈川

第四年生（九十四人）

□山田清　長野
□楢田陸亮　埼玉
□井上徹雄　長野
柳澤文三郎　長野
尾池正文　香川
三井豐吉　香川
岩月精一　長野
若林哲朗　山梨
羽根喜一　靜岡
根岸顯藏　長野
稻原一廣　埼玉
小林兵藏　埼玉
竹野芳太郎　京都
山田昌榮　靜岡
大塚運平　栃木
○萩原寬　茨城
清水亮　新潟
吉澤茂助　長野
大河原由藏　埼玉
小島修一　茨城
海老原寧　茨城
岸野新八　栃木
福井秀俊　福島
松原東平　群馬
○中山得之　香川
川上和六　長野
島田明　千葉
篠原一實　山梨
○當麻宇一郎　神奈川
室井常雄　新潟
深味貞治　秋田
○佐久間小次郎　愛知
波多腰正雄　長野
飯田實　神奈川
高橋朝太郎　山形
飯豐勝三郎　千葉
丸澤淳藏　新潟
近藤強平　愛知
神澤茂三郎　埼玉
本多泰　東京
水野二薰　福井
四田行造　神奈川
深澤誠一　東京
難波輝秀　岡山
丸山茂一郎　長野
五十嵐新藏　新潟
○竹下純一　山梨

松本純一郎　靜岡
恩田鎮二郎　群馬
夫澤貫之助　千葉
杉浦岡三　埼玉
前島眞澄　長野
塚本二瀬　東京
長谷川岩造　新潟
既知安太郎　岐阜
菊池崇爾　福岡
保坂眞哉　山梨
鶴岡重敬　東京
山内豊平　高知
矢島繁衛　長野
久住經太郎　東京
南澤安雄　長野

第三年生（百二十八）

□桐田益夫　大分

中井孝三　滋賀
藤平養三　栃木
桑原貞輝　新潟
栗林猪與平　靜岡
石川清次郎　栃木
在賀喜一　長野
今井昌五郎　新潟
堀内德平　靜岡
田口公太　大分
岡本清藏　兵庫
吉村春枝丸　東京
清水喜之助　群馬
加藤半二郎　岐阜
下部鍵之助　茨城

太胡喜作　靜岡
○矢野二郎　宮崎
竹越虎二　埼玉
安田舍三　埼玉
山本一男　靜岡
山口玄　愛知
朝川季爲龍　北海道
森藤三郎　千葉
小林英手　千葉
伊藤俊馨　愛知
小山長四郎　群馬
北定一　岡山
旅邊賢　靜岡
合田運　新潟

□渡邊文平　山梨

□石井清　埼玉

中島晉一郎　千葉
井田稔　廣島
神谷治　靜岡
加藤邦治　千葉
天谷虎雄　山形
小田瑞穗　廣島
下里直司郎　長野
櫻野與太郎　新潟
清水源八　埼玉
平川恒治　千葉
翠川眞左衛門　長野
王井準逸　岐阜
龍野孝夫　長野
金城嘉保　沖繩
大林珍平　愛知
皆川弘毅　神奈川
眞田敏介　東京

伏島忠雄　群馬
○三井寺啓三　東京
辻眞道　山梨
渡邊齊雄　靜岡
關谷祐之　千葉
金子巖　新潟
猪田直行　東京
鈴木忠助　鹿島
佐藤儀次郎　東京
本多芳太郎　宮城
松田清二郎　栃木
尾本熊雄　熊本
島田佐門　長野
須藤義平　長野
深津勳　千葉
沼尻喜二　茨城
野津勳六　島根
原量平　愛知
花島綺餘　長野
山崎恒雄　東京
○福田彌三郎　埼玉
鯰岡岩三郎　千葉
太田臣介　長野
野澤信直　靜岡
○岡雄一　靜岡

猛千葉
村湖英三　愛知
勢家直幹　京都
新橋十保　茨城
江田次郎　茨城
村山梨
内田源内　山梨
平岡岸助　鹿兒島
井

板倉勘三郎　愛知
伊東祐吉　山形
岡田慥造　滋賀
清口秀吉　靜岡
新井信于　兵庫
阿部龜藏　新潟
寶藤利賢　千葉
安藤武千葉
水谷勇香川
長谷川敬之助　埼玉
花開秀三　茨城
山田良矢斯　東京
岡部環　東京
谷口清木　鹿兒島
八木享　靜岡
島田傳之助　德島
鹿島廣藏　岡山

柳田辰吉　東京
小平定太　長野
島田忠助　愛知
中川學藏　宮城
○栗田不二雄　山形
永澤信親　東京
○山口與四郎　神奈川
小林美之輔　岡山
本坂慶美　長野
宮川清　愛知
○佐藤清　北海道
福田虎藏　福島
早川彰義　千葉
伊知地二清　新潟
鈴木廣藏　愛知
小林寬三　長野
高山眞藏　千葉
山口孝　靜岡
北條義雄　山形
小松喜二　秋田
熊田信吾　新潟
神島貞吉　新潟
倉科直治　長野
田中和輔　三重
大貫勉之允　茨城
安間善親　千葉
柳村藤三郎　千葉

橋本吉　東京
岡方太郎　北海道
名和信　東京
秋庭鐵雄　千葉
關山喜一郎　東京
丸岡一郎　新潟
岩崎藤太郎　三重
高山眞右　埼玉
飯島恒次郎　茨城
松尾傳　長野
田村孝　東京
三原米藏　東京
渡邊重光　神奈川
四村陸行　和歌山
宮永誠一　栃木
山孝七　千葉
近藤敬四郎　廣島

清水治失　長野
綠原芳雄　長野
○栗田不二雄　山形
山口與四郎　神奈川
○佐藤清　北海道
福田虎藏　福島
早川彰義　千葉
伊知地二清　新潟
鈴木廣藏　愛知
小林寬三　長野
高山眞藏　千葉
山口孝　靜岡
北條義雄　山形
小松喜二　秋田
熊田信吾　新潟
神島貞吉　新潟
倉科直治　長野
田中和輔　三重
大貫勉之允　茨城
安間善親　千葉
柳村藤三郎　千葉

第二章　生（百三十二人）

日置澄三郎　栃木
岡村治　神奈川
東榮司　靜岡
○栗田不二雄　山形
永澤信親　東京
○山口與四郎　神奈川
小林美之輔　岡山
本坂慶美　長野
宮川清　愛知
○佐藤清　北海道
福田虎藏　福島
早川彰義　千葉
伊知地二清　新潟
鈴木廣藏　愛知
小林寬三　長野
高山眞藏　千葉
山口孝　靜岡
北條義雄　山形
小松喜二　秋田
熊田信吾　新潟
神島貞吉　新潟
倉科直治　長野
田中和輔　三重
大貫勉之允　茨城
安間善親　千葉
柳村藤三郎　千葉

長野　綱田三郎　愛知
小平定太　長野
島田忠助　愛知
中川學藏　宮城
○栗田不二雄　山形
永澤信親　東京
○山口與四郎　神奈川
小林美之輔　岡山
本坂慶美　長野
宮川清　愛知
○佐藤清　北海道
福田虎藏　福島
早川彰義　千葉
伊知地二清　新潟
鈴木廣藏　愛知
小林寬三　長野
高山眞藏　千葉
山口孝　靜岡
北條義雄　山形
小松喜二　秋田
熊田信吾　新潟
神島貞吉　新潟
倉科直治　長野
田中和輔　三重
大貫勉之允　茨城
安間善親　千葉
柳村藤三郎　千葉

仙波正之　千葉　荻須繍　愛知
淺見薫　福島　金子喜一郎　群馬
村田茂助　福島　石川士氣夫　福島
武田信一　山形　杉野榮吉　宮崎
須賀專藏　埼玉　飯島順治　長野
望月於寛三　滋賀　國府田整　茨城
加島周吉　東京　岩澤融　東京
大澤順　千葉　小田恒太郎　新潟
向井篤三郎　三重　曾川貞貞　東京
林鴻吉　京都　加藤景一　岐阜
佐藤金司　千葉　石川俊治　愛知
石橋誠　千葉　高尾良輔　東京
小笠原定文　岩手　大牟田弘　鹿兒島
田口碩臣　東京　野村正義　鹿兒島
增田貢　靜岡　古島喜悅　長野
滋野道音　長野　今井義孝　埼玉
中村盛雄　愛知　板倉長重郎　愛知

森繁雄　栃木　田口良之助　東京
三浦角友　滋賀　高木廉　神奈川
福田三九三　栃木　鈴木寅治　新潟
鈴木寅治　新潟　飯竹彦三郎　茨城
飯竹彦三郎　茨城　田中庫三　埼玉
田中庫三　埼玉　天野養夫　三重
天野養夫　三重　大島牧三郎　茨城
大島牧三郎　茨城　宮寺耕一　東京
宮寺耕一　東京　天野義廣　島根
天野義廣　島根　田中信次郎　東京
田中信次郎　東京　百瀨茂里　長野
百瀨茂里　長野　高尾良輔　東京
高尾良輔　東京　大牟田弘　鹿兒島
大牟田弘　鹿兒島　鈴木芳藏　千葉
鈴木芳藏　千葉　石塚吉三　栃木
石塚吉三　栃木　織田剛式　愛知
織田剛式　愛知

酒井謙　千葉　荒木四郎　埼玉
吉松壽雄　高知　山科元善　東京
高澤修一　埼玉　墨谷文平　群馬
小澤愼藏　神奈川　宮本榮三郎　茨城
高柳眞一　埼玉　丸山敬次郎　神奈川
栗原福雄　神奈川　橋本篤行　埼玉
大木保一　山梨　須田收　千葉
阿部久藏　長野　安川市三　長野
前田彦熊　鹿兒島　清水富太　太山梨
塚越親之　群馬　安藤就正　東京
長連十郎　鹿兒島　小田野太一郎　愛知
原田彦太郎　愛知　石塚良筑　栃木
西塚美和歌山　加藤一美　愛知
小山道造　長野　藤田慶輔　東京
武井武雄　群馬　田村虎驚狼　新潟
堀光次郎　千葉　內木守一　埼玉

第一年生（百四十一人）

田口良之助　東京
高木廉　神奈川
新井匡　長野
池隆太　新潟
勝城市郎　滋賀
山崎一清　群馬
林房住　福岡
上原和三郎　千葉
寺田健三　神奈川
石橋源十郎　茨城
湯淺綱五郎　千葉
佐藤日出生　大分
長谷川愛之亮　新潟
星野信太郎　千葉
釜井敬司　栃木
小野謙之助　福島

佐藤信一　千葉　石井國太郎　埼玉　上田正次　愛媛
伊藤奇策　長野　淺倉保　東京　今井忠宗　神奈川
杉山眞門　宮城　增田三喜　長野　丸尾精一　靜岡
齋藤孝助　秋田　齋川寶齊　新潟　平井正就　東京
大野孝　千葉　大島正武　神奈川　松戸操　千葉
柏崎治　埼玉　清口貞藏　大分　小林衛資　長野
長町種香川　野中喜四郎　群馬　高木東圃　青森
星野友太郎　群馬　東郷實美　鹿兒島　相澤哲兵衛　長野
塚田孝助　茨城　大木支頴　千葉　矢崎悅太郎　山梨
富永馥　千葉　長谷川成一　東京　守山信治　山梨
河野守　千葉　小林楢太郎　長野　福本喜十　靜岡
幸田正實　青森　瀧川寬　滋賀　辻屋金三郎　靜岡
藤金藏　福岡　青木彌　栃木　足立謙吉　靜岡
石非宗吉　東京　中村林司　鹽谷郡　高木兵之亟　茨城
加藤義治　千葉　金子一齋　千葉　中川貞雄　石川
須永仙次郎　群馬　井波國吉　東京　小高伊之亟　埼玉
上野俊昌　千葉　針谷恭次　群馬　川崎榮　茨城

松倉一貞　東京　大塚利　千葉　木澤禎治　岐阜
加藤支會　長野　齋藤正雄　佐賀　鈴木兵子　千葉
石川日義　靜岡　青山八一哲　靜岡　高橋吉三郎　青森
松田昌造　鳥取　酒井道平　千葉　松岡鏡　福岡
曾彌彰　千葉　桑原英一　新潟　山川文信　沖繩
小池重貞　東京　昇川清治　埼玉　栞田茂治　長野
石黒勝太郎　新潟　玉川友德　長野　福島正男　栃木
中條經一　香川　住友勝　德島　藤原治郎　千葉
三澤修二　長野　田中資次郎　三重　宮下晴夫　長野
大澤謙　長野　小澤陸雄　長野　近江湖雄三　秋田
藤井謹三　岩手　妹尾貫泉　三重　武井開太　群馬
尊野久馬雄　和歌山　野口耕造　愛知　松澤末十郎　長野
野田實　千葉　二階堂雞肋　新潟　中山儀高　知
與水敏夫　山梨　金井塚善助　埼玉　木原金之助　埼玉
永澤健一郎　栃木　田口正平　茨城　中村信二　茨城
小澤成嵐　山梨　羽田萬次郎　新潟　小川光吉　長野
高橋錦藏　群馬　根本高義　福島　中村林樹　和歌山

小川藤二郎　千葉　古田弘平　北海道
森川三樹　新潟　吉田惟一　千葉
葛西潜　新潟　和田竹次郎　神奈川
橘温　新潟　八木久次　佐賀
猪俣敬蔵　鹿兒島　竹内五郎　長野
吉江傳　長野　浦野多門治　長野
鈴木政吉　千葉　石塚茂則　埼玉
小穴末作　長野　西庄二郎　和歌山
塙七三　茨城　近藤益三郎　千葉
安積清一　岐阜　黒澤勇　山梨
松井虎雄　福島　武井薫　埼玉
井草完二　東京　出町惠男　青森
榊原形治　石川　木村織之助　新潟

藥學科生徒

卒業試驗受驗生(七人)

□三木鼎　香川　本林平三郎　北海道
月見里辰五郎　靜岡　嶺矢一　千葉

船木龍馬　東京

第三年生(十一人)

□宇田富次郎　東京　宇田秀三郎　香川
太田傳作　福岡　黒崎英昌　栃木
鈴木俊直　北海道　加藤明三　栃木
南了　青森　杉山彦三郎　栃木

第二年生(二十二人)

佐野泰治　秋田　出井善助　栃木
松浦貞次郎　靜岡　金子章次　神奈川
中山雄次　群馬　飯山房次郎　埼玉
内藤淡甫　廣島　木村眞平　鹿兒島
今村久藏　秋田　大木武治　新潟
辻中幅司　群馬　加藤精一郎　千葉
福原信三　東京　弓削要助　鹿兒島
山田梁太郎　東京

第一年生(二十一人)

佐藤將治　新潟　西山貞高　知
齋藤清治　埼玉　多田亮　埼玉
古田義完　岐阜　小杉秀七　香川
　　古市舜治　三重
　　中島文炳　千葉
　　野崎鐵司　靜岡
　　鈴木振藏　神奈川

柳川政治　神奈川　士族　一級一等之吉
村野留蔵　神奈川　大島近義
佐藤寛　北海道　桑原嘉助
沖安太郎　静岡　中島柳作
黒澤四郎　茨城　田中英之輔
近藤良　東京　地曳朝治
澤田龍吉　東京　芝田久喜
○外國留學生
醫學科第四年生
左起慶　清國江蘇省　同第二年生
楼桓　清國江南省　同第一年生
劉世謀　清國湖南省　候補縣丞
李鉅文　錦平　清國浙江省　兼學科第二年生
汪本與準　清國江蘇省　居寛

○第八章　卒業生
醫學科卒業生
第一高等中學校醫學部
明治廿二年七月　十四人
日本赤十字社勤務
帥村順吉　郎　千葉國　陸軍軍醫
死亡
赤村貞博　千葉國　死亡
大森甚藏　兵庫縣　死亡
島崎通一　福島縣　開業
東京深川區戸長勤務
野賀國次郎　靜岡縣　開業
井山村忠介　千葉縣　開業
鯨山猪一郎　千葉縣　開業
明治廿三年五月　二十三人
大村宅吉　青森縣　開業
森貞太郎　靜岡縣　開業
白井聖　千葉縣　開業
柳田業介　福島縣　開業
神保代桃四郎　千葉縣　士族　開業
梅澤三男藏　埼玉縣　平民　開業
舩木國司　靜岡縣　平民　開業
石田茂夫　大阪府　平民　開業
神谷秀　靜岡縣　士族　開業
申澤親之　千葉縣　士族　開業
最上貞倉　千葉縣　平民　開業
深澤眞吉　靜岡縣　平民　開業

開業　士族　岐阜平民　玉原巨摩由
開業　士族　岐阜平民　堀井二宗五郎
開業　士族　滋賀平民　澤田四一郎
開業　平民　静岡平民　池田信栄助
陸軍衛生部雇員兼薬剤師　平民　群馬平民　黒澤貞祐栄助
死亡　平民　千葉平民　金網庄三郎
伊藤生命保険會社勤務　士族　千葉平民　栄田榮重
陸軍々醫（豫備）　士族　岐阜平民　清水貞雄
開業　士族　愛知平民　前田珍男子
開業　平民　香川平民　吉田曠五郎
開業　平民　千葉平民　深一稲葉守雄
開業　士族　新潟平民　前川善兵衛
開業　士族　岐阜平民　清水貞雄
開業　士族　愛知平民　前田珍男子
開業　平民　香川平民　吉田曠五郎
開業　平民　千葉平民　深一稲葉守雄
開業　士族　新潟平民　前川善兵衛

開業　平民　岐阜平民　原野禾鐵太郎
開業　士族　岐阜平民　都築甚之助
陸軍々醫（豫備）　平民　愛知平民
開業　平民　滋賀平民　渡邊寅太郎
開業　平民　岡山平民
開業　士族　香川平民　長尾拙三
開業　平民　長野平民　小池鎌之助
開業　平民　千葉平民　石川良徹
開業　平民　千葉平民　椎林鏡吉
開業　士族　埼玉平民　吉田三廉助
開業　士族　福井平民　徳原愛四郎
開業　平民　千葉平民　増田美代三郎
開業　平民　千葉平民　白井要作
開業　平民　千葉平民　葛原弼司
開業　平民　群馬平民　志村庫三

開業　平民　山梨平民　入山代五秀一雄
開業　士族　千葉平民　若米雄栄郎
開業　平民　千葉平民　芳澤鷹之助
明治廿四年十二月廿四日　四十二人
開業　士族　山形平民　伊藤宣良
研究中　平民　茨城平民　松浦純三郎
陸軍々醫（後備）　士族　岡山平民　林尚晴世
開業　平民　千葉平民　渡邊保太郎
陸軍衛生部雇員　平民　茨城平民　猿木田保太郎
陸軍々醫（豫備）　士族　兵庫平民　吉原直衛
新潟縣新發田病院長　士族　新潟平民　鮫島哉吉
開業　士族　栃木平民　片岡隼太
陸軍衛生部雇員　平民　愛知平民　櫻木龜次郎
茨城縣技師　平民　宮崎平民　鈴木得三
死亡　平民　長野平民　村松佳

開業　士族　山梨平民　山口淳一
陸軍衛生部雇員　士族　静岡平民　前田三郎次
開業　士族　新潟平民　桂重恭
開業　士族　栃木平民　片岡隼太
陸軍々醫（豫備）　士族　愛知平民　櫻木龜次郎
開業　士族　宮崎平民　鈴木得三
開業　士族　山梨平民　野本肇

開業 石山卓郎 長野平民 開業 佐藤[illegible]俊 東京平民
開業 町田亀次郎 埼玉平民 開業 吉田[illegible]葉 千葉平民
開業医 海老原宗作 茨城平民 群馬縣三井紡績所勤務 大林良作 埼玉平民
開業 山田寛[illegible] 東京士族 開業 石井嘉助 千葉平民
開業医 [illegible]屋鐵之助 山梨平民 陸軍二等軍医(後備) 神野峰得 静岡平民
開業医 植木三雄吉 栃木平民 陸軍二等軍医 岡[illegible]隆太郎 栃木平民
開業 和田力彌 栃木平民 開業 山田敬助 千葉士族
陸軍二等軍医(後備) 細川藤三郎 長野平民 死亡 小高留吉 千葉平民
開業 柿[illegible]常吉 千葉平民 陸軍二等軍医 秋谷静雄 千葉平民
開業 高橋甲子太郎 茨城平民 開業 糸井玄 千葉平民
開業 荒[illegible]田博 福岡平民 開業 勝俣眞三吉 群馬平民
東京[illegible]島病院勤務 原[illegible]秋 東京士族 開業 [illegible] [illegible]
開業 明治廿五年三月[illegible] 四十二人

開業医 黒[illegible]田計吉 茨城平民 陸軍二等軍医(後備) 矢塚美[illegible]四郎 千葉平民
開業医 細谷喜三郎 群馬平民 開業医 宮内威太郎 茨城平民
死亡 猪[illegible]省三郎 東京平民 帝國生命保險會社勤務 松林[illegible]健吉 香川平民
開業医 持木[illegible]謙 埼玉平民 陸軍二等軍医 長峰縫之一郎 千葉平民
開業 吉橋[illegible]甸二 千葉平民 開業 齊藤乙吉 千葉平民
開業 葉原龍之助 千葉平民 開業 佐々木辰太郎 群馬士族
開業 飯塚藤太郎 茨城平民 開業 吉野興太郎 千葉士族
開業 柿崎小太郎 長野平民 開業 中山河[illegible]文準 香川平民
開業医 廣岡梅三郎 東京平民 開業 樋口[illegible]壽 岐阜平民
陸軍二等軍医(後備) 小谷静[illegible] 愛知士族 福岡縣柳川大城合立病院勤務 朝山勘一 長崎士族
開業医 山崎肇造 新潟平民 開業医 宮下道之助 千葉士族
陸軍二等軍医(後備) 飯田七太郎 千葉平民 開業 横田正路郎 茨城平民
開業 坂本[illegible]一良 茨城平民 陸軍二等軍医(後備) 河内鑑太郎 千葉平民

死亡

清宮義太郎 平 千葉 陸軍々醫（後備）
清水重次郎 埼玉 開業
安村 勇 士族 陸軍々醫
六戸守義 青森 陸軍々醫（後備）召立
森田直誠 士族 開業
和久井小平二郎 栃木 死亡
渡邊友七 千葉 開業
板倉 誠 千葉 死亡

明治二十六年三月 二十五人

岡 米善治郎 山口 開業
江藤龍五郎 福岡 士族 陸軍々醫
富田雄次郎 東京 士族 陸軍々醫
秦野謙英士二郎 千葉 死亡

昇川恭太郎 山梨 陸軍々醫（後備）
高郷春庵 静岡 開業
志村順造 埼玉 陸軍々醫
三本德吉 廣島 士族 陸軍々醫（後備）召立
中村常太郎 千葉 開業
小山卯三郎 群馬 死亡
押尾彌三郎 千葉 開業
粟山喜三郎 熊本 死亡

本村太郎 山口 士族 開業
宇田米太郎 岡山 開業
大洲知太保 栃木 死亡
根岸螺四彦 埼玉 死亡

長谷川湧治 千葉 陸軍々醫
杉山直吉 千葉 陸軍々醫（後備）
酒山政恒 東京 開業
關根庄藏 千葉 陸軍々醫
瀧川良太郎 士族 開業
富田寶 愛知 陸軍々醫（後備）
菅田龍雲 熊本 士族 開業
谷口泰 岐阜 死亡

栗谷道章 山口 士族 石巻病院勤務
中村榮 福島 開業
柳原謙吉 靜岡 陸軍々醫
小川昇二 東京 開業
犬石弘 千葉 開業

菅野憲 大阪 士族
梅村保 山口 開業
森田恒 東京 開業
岸山秀俊 東京 士族 開業
田久保節造 千葉 開業
長島和三郎 千葉 長崎 開業
福村義治 三重 士族
桑原謙太郎 新潟 開業
家坂清次郎 新潟 開業
岩井辰五郎 千葉 開業
崔井巳之次 千葉 士族 開業
山田保治郎 埼玉 開業
鈴木虎雄 千葉 開業

北海道函館區立 各川病院勤務
千葉縣香取郡 醫勤務
日本赤十字社勤務

開業　少倉義男　千葉縣　士族

明治廿七年三月　五十三人

陸軍軍醫（後備）　瀧口佶　靜岡縣　平民

京都醫科大學助教授　淺原愼次郎　東京府　平民

陸軍軍醫　太田基　知縣事　旗本

開業　篠田道之助　三重縣　平民

開業　太田叡三　愛知縣　士族

開業　長屋慶　堺縣　士族

堺木縣赤津病院長勤務　北林秀永　京都府　平民

陸軍々醫（後備）　犬塚恒　千葉縣　士族

陸軍軍醫　犬飼毅　愛知縣　平民

陸軍軍醫（後備）　横川德二郎　長野縣　士族

陸軍々醫（後備）　小林久太郎　東京府　士族

開業　藤野仙吉　岐阜縣　士族

開業　瀨戸玄益　靜岡縣　平民

陸軍軍醫　廣田榮吉　栃木縣　平民

陸軍々醫（後備）　宮崎榮太郎　大阪府　平民

陸軍軍醫（後備）　松井康興　福岡縣　平民

陸軍々醫（後備）　武部徹太郎　千葉縣　士族

開業　鎌田鉄二　愛知縣　平民

陸軍軍醫　小川冠造　新潟縣　平民

陸軍々醫（後備）　澁澤實　福岡縣　平民

開業　安田耕藏　千葉縣　平民

陸軍軍醫（後備）　栗山彈次郎　和歌山縣　平民

陸軍々醫（後備）　黒田龍善　千葉縣　平民

浪華生命保險會社勤務　新山辰四郎　石川縣　士族

陸軍々醫（後備）　沼尻共利　埼玉縣　平民

開業　米軍勇造　福井縣　平民

陸軍軍醫　市原錬三　靜岡縣　平民

開業　市瀬英井常作　栃木縣　平民

陸軍軍醫（後備）　平田重壽　東京府　士族

開業　長谷川熊太郎　群馬縣　平民

開業　酒井卯平太　新潟縣　平民

開業　山田賢次　埼玉縣　平民

陸軍軍醫（後備）　山口重俊　千葉縣　平民

開業　芝納林寛　千葉縣　平民

開業　鈴木賢三　靜岡縣　平民

開業　牧山鈞　東京府　平民

開業　神島錦太郎　千葉縣　士族

開業　兵井田與一郎　埼玉縣　平民

開業　鎗貝幸三郎　栃木縣　平民

開業　岡田貫三　靜岡縣　平民

陸軍軍醫（後備）　犬塚德二郎　埼玉縣　平民

開業　宮田脩義　滋賀縣　平民

開業　松葉登　茨城縣　平民

開業　御厨照三郎　愛知縣　平民

開業
荒川雄之助　千葉　平民　死亡
岡田眞治　東京　士族

開業醫（外科）
小山眞爾　新潟　士族　開業醫（外科）
木原鋭吉　千葉　平民

開業
水谷兎資一郎　千葉　平民　開業
栗山剛太郎　山梨　平民

開業
明治廿八年十二月　四十六人
安田[illegible]　千葉　平民

開業
稲荷恭太郎　富山　平民　開業
藤村郁太郎　靜岡　平民

陸軍々醫（後備）
時田重勉　新潟　平民　開業醫
江浦栄齋　靜岡　平民

埼玉監獄勤務
小川良次　埼玉　平民　開業
條木賢潔　群馬　平民

開業
田崎金重　新潟　平民　陸軍々醫（後備）
萬野周藏　愛知　平民

開業
高橋俊雄　秋田　平民　開業
井澤景治　宮城　平民

開業醫
井上重徳　神奈川　平民　死亡
丸山一壽　長野　平民

死亡
尾崎源吉郎　高知　平民　臺灣總督府醫院醫員
松尾峰太郎　長崎　平民

開業醫
南条文雄　山形　士族　陸軍々醫（後備）
難波謙一　新潟　平民

陸軍々醫（後備）
權波藤吉　福岡　平民　死亡
岡部樫之助　福岡　士族

開業
田中恭一　和歌山　平民　開業醫
後藤義夫　茨城　平民

開業醫
原集　山梨　平民　陸軍々醫（後備）
瀬嘉吉　宮崎　士族

陸軍々醫
宮崎武治　大阪　平民　開業
塙順司　靜岡　平民

陸軍々醫
若林鐵三郎　千葉　平民　陸軍々醫（後備）
高宮豊吉　奈良　士族

陸軍々醫
米川義雄　石川　平民　陸軍々醫
小林五郎六　茨城　平民

陸軍々醫
川田宗三郎　栃木　平民　死亡
岩名地瀧藏　千葉　平民

日本赤十字社勤務
岡崎喬助　新潟　平民　開業
後藤英次郎　東京　平民

開業
小松仁三郎　新潟　平民　開業
子安直樹　千葉　平民

陸軍々醫
松井新藏　大阪　平民　死亡
田中眞助　秋田　士族

開業
田中盛業　東京　士族　開業（退役陸軍々醫）
本間芳太郎　新潟　平民

開業醫
西澤藤太郎　奈良　平民　陸軍々醫
土野貞信　佐賀　士族

開業
齋藤仙次郎　埼玉　平民　開業
中垣喜人　愛知　平民

開業
藤島泰司　東京　士族　開業
壬生六教　東京　士族

開業　加藤俊治　千葉　平民
開業　石井六郎　千葉　平民
明治廿九年一月　十人
開業　中原吉八　千葉　平民
陸軍々醫　田丘辰太郎　福岡　平民
陸軍々醫（後備）　宇山繁　東京　平民
死亡　山本秀　岡山　平民
北海道公立大学病院長勤務　伊地知榮吉　鹿兒島　士族
開業　伊澤太助　東京　士族
開業　横山京藏　岡山　平民
開業　志賀鏡吉　東京　士族
開業　千宮寛　大分　士族
開業　宇喜英次　鹿兒島　士族
明治廿九年十一月　三人
開業　長谷川晉克　東京　平民
日本赤十字社勤務　山口武清　鹿兒島　士族
陸軍々醫（後備）　服部眞吉　新潟　平民
開業　高宮豊　岩手　平民
第一高等學校醫學部　第二回卒業生
明治廿九年三月　四十二人
開業　啓村銀藏　愛媛　士族
陸軍々醫（後備）　伊藤知之助　埼玉　士族
開業　中野信雄　大阪　平民
開業　三井清　山梨　平民
開業　浦島壯雄　長崎　士族
開業　廉生敬義　千葉　平民
開業　松本田啓祐　鹿兒島　士族
陸軍々醫（後備）　坂正建　新潟　士族
開業　松島祐之助　埼玉　士族
陸軍々醫（後備）　小野寺圓其爲　鹿兒島　士族
開業　加藤勝　福岡　士族
米國留學　濱邊義郎　旅木　士族
開業　大島溝現　福岡　平民
歸立病院勤務　林恒角吉　千葉　平民
開業　大月豐　福井　士族
開業　森永頑　東京　士族
陸軍々醫（後備）　兒玉辰助　岐阜　平民
開業　旅邊長道　東京　士族
陸軍々醫（後備）　笠井治郎　山梨　士族
開業　高頭義治　新潟　平民
陸軍々醫（後備）　長野文路　鹿兒島　士族
開業　石田雄二　長野　士族
陸軍々醫　北村錄郎　東京　士族
開業　山口弓米彌　山形　平民
死亡　北原信明　栃木　士族
陸軍々醫　太田久　茨城　士族
陸軍々醫（後備）　伊藤寅之助　千葉　平民
開業　小野信雄　大阪　平民
開業　楠川泉策　山形　士族
陸軍々醫（後備）　三井清　山梨　平民
開業　浦島壯雄　長崎　士族
陸軍々醫（後備）　廉生敬義　千葉　平民

陸軍々醫(豫備)　稲熊銑吉　愛知平民　開業　北出幸治　北海道平民

開業　橋口住眞　鹿兒島士族　開業醫(病謂)　岸根健藏　茨城平民

開業醫(某謂)　坂本伊那吉　高知平民　陸軍々醫　大平竹太郎　香川平民

死亡　松田慶吉　山形平民　開業　藤田國太郎　平民

開業　友石貫一　福岡平民　陸軍々醫(豫備)　手島眞幹　福岡平民

開業醫　鎌田勝郎　愛媛平民　開業　多湖良之助　静岡平民

開業　福島福郎　佐賀士族　(　)　太田　人　士族

米國留學　明治二十九年十二月卒業　五十一人　北原　明　士族

開業　河野至神　東京士族　市立鹿兒島病院勤務　鈴戸与壽藏　鹿兒島士族

死亡(　)　大塚鉦之　佐賀士族　陸軍々醫(豫備)(當校教授)　押田德郎　千葉平民

陸軍々醫(豫備)　佐尊勉藏　山口士族　開業醫　熊田源太郎　福岡士族

日本赤十字社勤務　中川越郎　富山士族　開業醫　藤田末藏　青森士族

開業　細谷田德好　群馬平民　山梨縣甲府病院勤務　內藤東一郎　山梨平民

開業醫　星野文鼎　神奈川平民　開業醫　堀川發新太　埼玉平民

開業　佐藤信行　山形平民　陸軍々醫(豫備)　軍地鉦三郎　茨城士族

死亡　赤澤正雄　宮城平民　開業　山本銀藏　神奈川平民

陸軍々醫(豫備)　中村磨夫　静岡平民　陸軍々醫(豫備)　長草東三郎　東京士族

開業　金內　薫　新潟平民　開業　八　戸原泰太郎　福岡士族

開業　保倉彌吉郎　新潟平民　市ヶ谷監獄勤務　多田正廣　和歌山士族

陸軍々醫　豊田欽二治　千葉平民　開業　飛島武雄　福岡士族

陸軍々醫(豫備)　富永慶一郎　栃木平民　有隣生命保險會社勤務　山崎喜三郎　千葉平民

開業　鹿田悌三郎　東京平民　死亡　濱野勇藏　千葉平民

名古屋好生館勤務　淺井種次郎　愛知平民　陸軍々醫(豫備)　正田就吉　栃木士族

陸軍々醫(豫備)　邊沼智三　福島平民　開業醫　手塚　貢　静岡平民

陸軍々醫(豫備)　菊池岩男　静岡平民　開業　高安千代應　栃木平民

開業醫　佐野幹雄　福井平民　北海道利尻郡　病院勤務　郷田安兵太郎　大分士族

陸軍々醫（豫備）　赤坂榮治　士族　埼玉縣

開業醫（退役）　齋藤熊四郎　士族　千葉縣

陸軍々醫（豫備）　田吹環　士族　大分縣

開業醫　澤井安貞　平民　神奈川縣

開業　飯田造酒造　平民　茨城縣

開業醫（退役）　玉屋泰一　平民　栃木縣

開業醫　坂本直三郎　平民　福島縣

開業　半山豬治郎　平民　千葉縣

明治二十年十一月十七日現在

陸軍々醫（豫備）　森亮光　平民　栃木縣

死亡

開業　横田司　士族　山口縣

開業　大武岌夫　平民　福井縣

陸軍々醫（豫備）　後藤文治　平民　京都府

開業　宮本周說　平民　埼玉縣

開業　谷安千代吉　平民　福岡縣

陸軍々醫（豫備）　本宮山精一　士族　静岡縣

開業醫（退役）　朝岡貞純　平民　静岡縣

陸軍々醫　石田真貫　平民　大分縣

開業　西野修一　平民　栃木縣

開業　伊藤岱嚢　平民　秋田縣

開業　今田正淵　士族　兵庫縣

陸軍々醫（豫備）　屋敷遠藏　士族　神奈川縣

開業　濱邊岌岱　平民　長野縣

陸軍々醫（豫備）　高坂東昌忠　士族　東京府

死亡

開業　岡谷誠一　平民　岐阜縣

七十七人

開業　岐毛龜五郎　士族　岐阜縣

陸軍々醫　竹村學次郎　平民　長野縣

死亡

開業　草野周吉　平民　福島縣

開業醫（退役）　松本廷三郎　平民　埼玉縣

陸軍々醫　久保田榮吉　平民　茨城縣

陸軍々醫（豫備）　中林正已　平民　長野縣

開業　長田望理　平民　茨城縣

陸軍々醫（豫備）　新潟市長谷川病院勤務　湯淺弘　平民　千葉縣

開業　堀林巖　平民　群馬縣

開業　稻葉長治　平民　茨城縣

死亡

陸軍々醫　早川祐吉　平民　山梨縣

陸軍々醫（豫備）　石井錄郎　平民　栃木縣

陸軍々醫　山崎豐三郎　平民　大阪府

開業醫（試驗委員）　根本嶠之助　平民　千葉縣

陸軍々醫（豫備）　日本赤十字社勤務　今井英一郎　平民　岐阜縣

開業　安達修吉　平民　新潟縣

陸軍々醫（豫備）　加納圭助　平民　岐阜縣

開業（退役陸軍々醫）　村井六彌　平民　三重縣

陸軍々醫（豫備）　吉田俊造　平民　東京府

陸軍々醫　平林安造　平民　大阪府

開業　大塚義男　平民　岡山縣

陸軍々醫（豫備）　池田章　平民　静岡縣

陸軍々醫　吉川義懷　士族　東京府

開業　本間長藏　平民　新潟縣

陸軍々醫　星川於都造　平民　東京府

開業	秋谷浦治郎	平民漁業	陸軍々醫(後備)	佐波順造	平士族	開業	林大川茂松	平士族民業	開業	佐久間周作	士族	開業	大河内鄰雄
陸軍々醫(後備)	鈴木信造	平民漁業	陸軍々醫	鈴木信造	平民漁業	開業	實安三	平民農	開業	近允治	士族	開業	中村龜太郎
開業	庄田玄龍	士族	陸軍々醫(後備)	庄田玄龍	士族	開業	川口泉	士族	開業	左近允祥彦	士族	開業	中村龜太郎
開業	鈴木久次郎	平民木材	開業	鈴木久次郎	平民木材	開業	藤原松三	平部	陸軍々醫	玉月七郎	平民木	開業	中村龜太郎
開業	佐藤久助	平民木材	開業	佐藤久助	平民木材	開業	戶田貞三	平岡	開業	鈴木順	士族	開業	中村龜太郎
開業	越川茂吉	平民漁業	開業	越川茂吉	平民漁業	開業	明治三十一年十二月七十二人						
陸軍々醫(後備)	後藤秀三郎	平士族	陸軍々醫(後備)	後藤秀三郎	平士族	陸軍々醫(後備)	西野準二郎	平神奈川民	開業	西野準二郎	平神奈川民	開業	中村龜太郎
開業	根本善次郎	平民農	開業	根本善次郎	平民農	開業	增田藤二郎	平千民業	開業	增田藤二郎	平千民業	開業	中村龜太郎
陸軍々醫(後備)	越川茂吉	平千民業	開業	越川茂吉	平千民業	開業	小林威助	平埼民京	陸軍々醫(後備)	小林威助	平埼民京	陸軍々醫(後備)	中村龜太郎
陸軍々醫(後備)	米村俊司	平靜民阿	陸軍々醫(後備)	米村俊司	平靜民阿	陸軍々醫(後備)	河野楯三	士族島	開業	河野楯三	士族島	開業	中村龜太郎
醫師助手	林直助	平岐民阜	死亡										
死亡	宮下間兵衛	士族	陸軍々醫	宮下間兵衛	士族	陸軍々醫	篠田主三郎	平茨城	陸軍々醫(後備)	篠田主三郎	平茨城	陸軍々醫(後備)	中村龜太郎
隨軍々醫	中村龜太郎	平靜民岡	開業	中村龜太郎	平靜民岡	開業	佐久間周作	士族	開業	佐久間周作	士族	開業	中村龜太郎
兼陸軍省衛生局事務官	大河内鄰雄	士族	開業	大河内鄰雄	士族	開業	左近允祥彦	士族	開業	左近允祥彦	士族	開業	中村龜太郎
開業	秋谷浦治郎	平民漁業	陸軍々醫(後備)	佐波順造	平士族	開業	林大川茂松	平士族民業	開業	佐久間周作	士族	開業	中村龜太郎

開業	鈴木順	士岐阜	開業	戶田貞三	平岡民山	開業	鈴木順	士岐阜	開業	戶田貞三	平岡民山	開業	中村龜太郎
陸軍々醫	玉月七郎	平民木	開業	林原藤松	平部民埼	陸軍々醫	玉月七郎	平民木	開業	林原藤松	平部民埼	陸軍々醫	中村龜太郎
開業	左近允祥彦	士鹿兒島族	市立産兒院事務	尾籌川造	平埼民埼	開業	左近允祥彦	士鹿兒島族	市立産兒院事務	尾籌川造	平埼民埼	開業	中村龜太郎
開業	佐久間周作	士靜岡族	開業	本真造	平東民京	開業	佐久間周作	士靜岡族	開業	本真造	平東民京	開業	中村龜太郎
陸軍々醫(後備)	篠田主三郎	平茨城	陸軍々醫	鶴寫	平茨民城	陸軍々醫(後備)	篠田主三郎	平茨城	陸軍々醫	鶴寫	平茨民城	陸軍々醫(後備)	中村龜太郎
開業	河野楯三	士鹿兒島族	陸軍々醫	關琢	平岡民鳥	開業	河野楯三	士鹿兒島族	陸軍々醫	關琢	平岡民鳥	開業	中村龜太郎
陸軍々醫(後備)	小林威助	平埼民京	死亡										
陸軍々醫(後備)	中村民次郎	平士族	死亡										
陸軍省衛生局事務官	增田藤二郎	平千民業	開業	朝生信太良	平千民業	陸軍省衛生局事務官	增田藤二郎	平千民業	開業	朝生信太良	平千民業	陸軍省衛生局事務官	中村龜太郎
開業	西野準二郎	平神奈川民	開業	西野準二郎	平神奈川民	開業	西野準二郎	平神奈川民	開業	西野準二郎	平神奈川民	開業	中村龜太郎
	明治三十一年十二月七十二人												
開業	庄田玄龍	士埼京	陸軍々醫(後備)	庄田玄龍	士埼京	陸軍々醫(後備)	庄田玄龍	士埼京	陸軍々醫(後備)	庄田玄龍	士埼京	陸軍々醫(後備)	中村龜太郎
陸軍々醫(後備)	鈴木信造	平千民業	陸軍々醫	鈴木信造	平千民業	陸軍々醫(後備)	鈴木信造	平千民業	陸軍々醫	鈴木信造	平千民業	陸軍々醫(後備)	中村龜太郎
開業	佐波順治郎	平秋民阪	開業	佐波順治郎	平秋民阪	開業	佐波順治郎	平秋民阪	開業	佐波順治郎	平秋民阪	開業	中村龜太郎

佐藤忠藏	秋田縣平民	海軍々醫	
江塚甫	靜岡縣平民	陸軍々醫（豫備）	靜岡縣公立伊豆病院長勤務
島山剛	岩手縣平民	陸軍々醫（豫備）	盛岡市東北病院勤務
岩立保太郎	千葉縣平民	陸軍々醫（豫備）	死亡
竹澤貞助	埼玉縣平民	陸軍々醫（豫備）	開業
市川遙次郎	山梨縣平民	陸軍々醫（豫備）	開業
山田清二	新潟縣士族	陸軍々醫（豫備）	死亡
古山良胤	靜岡縣平民	陸軍々醫（豫備）	開業
幡徹	福島縣平民	陸軍々醫（豫備）	海軍々醫
三浦吉	東京府平民	陸軍々醫（豫備）	開業
犬原文作	新潟縣平民	陸軍々醫	開業
五十嵐雄太郎	山形縣士族	陸軍々醫（豫備）	開業
西川吏	長野縣平民	陸軍々醫（豫備）	開業
矢澤操	東京府士族	海軍々醫	
鈴木淺吉	東京府平民	陸軍々醫（豫備）	
中島悅郎	愛知縣平民	海軍々醫	
三橋揖三	長野縣士族	陸軍々醫（豫備）	
師岡啓三郎	茨城縣平民	陸軍々醫（豫備）	
小林國藏	栃木縣平民	開業	
新井敬助	埼玉縣平民	陸軍々醫（豫備）	
北濱孫太郎	北海道平民	陸軍々醫（豫備）	神奈川縣檢疫醫勤務
齋藤清	茨城縣平民	陸軍々醫（豫備）	
西口秀雄	愛知縣士族	開業	
池田義人	長野縣平民	開業	
寺田臺太郎	茨城縣平民	陸軍々醫（豫備）	
宇津均	大分縣士族	開業	

和田孝治	滋賀縣平民	開業	
平澤五郎	新潟縣平民	陸軍々醫（豫備）	
鈴木啓造	栃木縣平民	陸軍々醫	
及川晃	岩手縣平民	開業	
原忠五郎	島根縣平民	開業	
田中東作	新潟縣士族	開業	
豬方定四郎	大分縣士族	開業	
二場正作	群馬縣平民	陸軍々醫（豫備）	
岩城崇	福岡縣平民	開業	
中田富治郎	東京府平民	開業	
中山清	茨城縣平民	陸軍々醫（豫備）	
寺本源之助	大阪府平民	開業	
綱澤昌言	千葉縣平民	開業	
山田信吉	新潟縣平民	開業	山口縣秋穗病院勤務
今井碧海	長野縣士族	陸軍々醫（豫備）	日本赤十字社勤務
右坂貞治	新潟縣士族	開業	
桑山彰	愛知縣平民	陸軍々醫（豫備）	
中根保次	兵庫縣平民	開業	
峰島收二	千葉縣平民	陸軍々醫（豫備）	兵庫縣私立佐野病院勤務
中川朝吉	山形縣士族	開業	
一條貞吉	福島縣士族	陸軍々醫（豫備）	
武藤省三郎	群馬縣平民	陸軍々醫（豫備）	
尾山瑞雄	熊本縣平民	開業	
加藤讓太郎	愛知縣平民	陸軍々醫（豫備）	
光波榮之助	廣島縣平民	開業	北海道炭礦鐵道會社勤務
岡田養軒	福岡縣平民	開業	

開業	山谷辰造	士岡	族	開業	佐藤	鈴木信二	平岸	本郷要太郎	士岸	川宜藏	平岸
陸軍々醫(豫備)	武野明	士千	族	靜岡縣警部勤務							
開業	松崎良	平茨	民城	開業							
死亡	渡邊藤藏	平埼	民玉	開業							
開業	近藤春夫	士神	平三	海軍々醫(豫備)	坂本勇七		士鹿兒島	族			
高等警察事務取扱	近藤春夫	士神	平三	海軍々醫(豫備)	坂本勇七		士鹿兒島	族			
海軍々醫	松隈尚二	士東	族	陸軍々醫(豫備)	河野一陽		士鹿兒島	族			
陸軍々醫(豫備)	柏戶貢	平埼	民木	開業	河野知治		士千	民			
研究中	河野政之進	平長	民野	東京府會議員	樋口繁		平岸	民岡			
陸軍々醫(豫備)	海老澤於兎三	平茨	民城	開業	我重太		平茨	民城			
開業	福田壽甫	平山	民口	陸軍々醫(豫備)	佐々山達之助		平長	民野			
研究中	尾形久郎	士佛	族	研究中	佐々間三郎		平王	民茨			
最上羅		平王	民茨								

開業	秦金藏	平神	民岡	開業	谷口角造		平富	民山			
陸軍々醫(豫備)	岸田後三	平福	民山	死亡							
陸軍々醫	瓶內義次	平靜	民靜	陸軍々醫(豫備)	柳本節藏		平群	民馬			
疾病調查事務取扱	神津新平	平長	民野	開業							
開業	內茂樹	東京	民京	開業	鈴木潮衛		平茨	民城			
地方監獄書記兼校訓導	久保俊	士大	族分	陸軍々醫							
陸軍軍醫	神田要	平長	民野	開業							
陸軍々醫(豫備)	赤松輸	平愛	民知	陸軍々醫(豫備)	矢野文助		平茨	民城			
開業	永山猛	平茨	民城	陸軍々醫(豫備)	伊串安藏		士新	族			
死亡	長谷川傳	平千	民葉	死亡							
醫立若狹病院長勤務	孟非宗雄	士熊	族本	開業							
帝國生命保險會社勤務	佐藤保男	平茨	民城	開業							
陸軍々醫(豫備)	森義孝	平高	民島	開業							

開業	秦金藏	平神	民岡	開業	藥谷寬三郎		平埼	民玉			
陸軍々醫(豫備)	岸田後三	平福	民山	死亡							
陸軍々醫	瓶內義次	平靜	民靜	陸軍々醫(豫備)	柳本節藏		平群	民馬			
疾病調查事務取扱	神津新平	平長	民野	開業							
開業	內茂樹	東京	民京	開業	鈴木潮衛		平茨	民城			
地方監獄書記兼校訓導	久保俊	士大	族分	陸軍々醫							
陸軍軍醫	神田要	平長	民野	開業							
陸軍々醫(豫備)	赤松輸	平愛	民知	陸軍々醫(豫備)	矢野文助		平茨	民城			
開業	永山猛	平茨	民城	陸軍々醫(豫備)	伊串安藏		士新	族			
死亡	長谷川傳	平千	民葉	死亡							
醫立若狹病院長勤務	孟非宗雄	士熊	族本	開業							
帝國生命保險會社勤務	佐藤保男	平茨	民城	開業							
陸軍々醫(豫備)	森義孝	平高	民島	開業							

陸軍少將（旅團）　田島弥平　愛知県平民
陸軍少將（重藏）　伊藤左岩司　長野県平民
陸軍少將　高橋忠恕　栃木県平民
陸軍少將　高野昭　福島県華族
陸軍少將（連隊）　工藤進　静岡県平民
陸軍少將　平田勗　千葉県平民
陸軍少將（旅團）　兵野静　宮城県平民
陸軍少將（旅團）　島田多門　神奈川県士族
陸軍少將（旅團）　西郷徳員　東京府士族
陸軍少將（旅團）　吉川酉太　茨城県平民
陸軍少將（旅團）　市川博賢　長野県平民
陸軍少將（旅團）　青木豊治郎　東京府平民

陸軍少將（旅團）　西垣鶴太郎　兵庫県平民
陸軍少將　佐藤文　東京府士族
陸軍少將　依田義朗　長野県平民
陸軍少將　熊澤淳　愛知県平民
陸軍少將　鈴木協　愛知県平民
陸軍少將　栗原金彌　埼玉県平民
陸軍少將（旅團）　加藤亮作　静岡県平民
陸軍少將（旅團）　加藤熊　千葉県平民
陸軍少將　張野良材　岐阜県士族
陸軍少將　島田誠輔　東京府平民
陸軍少將　西稲貞良　愛知県平民
陸軍少將　水川富男　静岡県平民
陸軍少將　後藤置三郎　愛知県平民

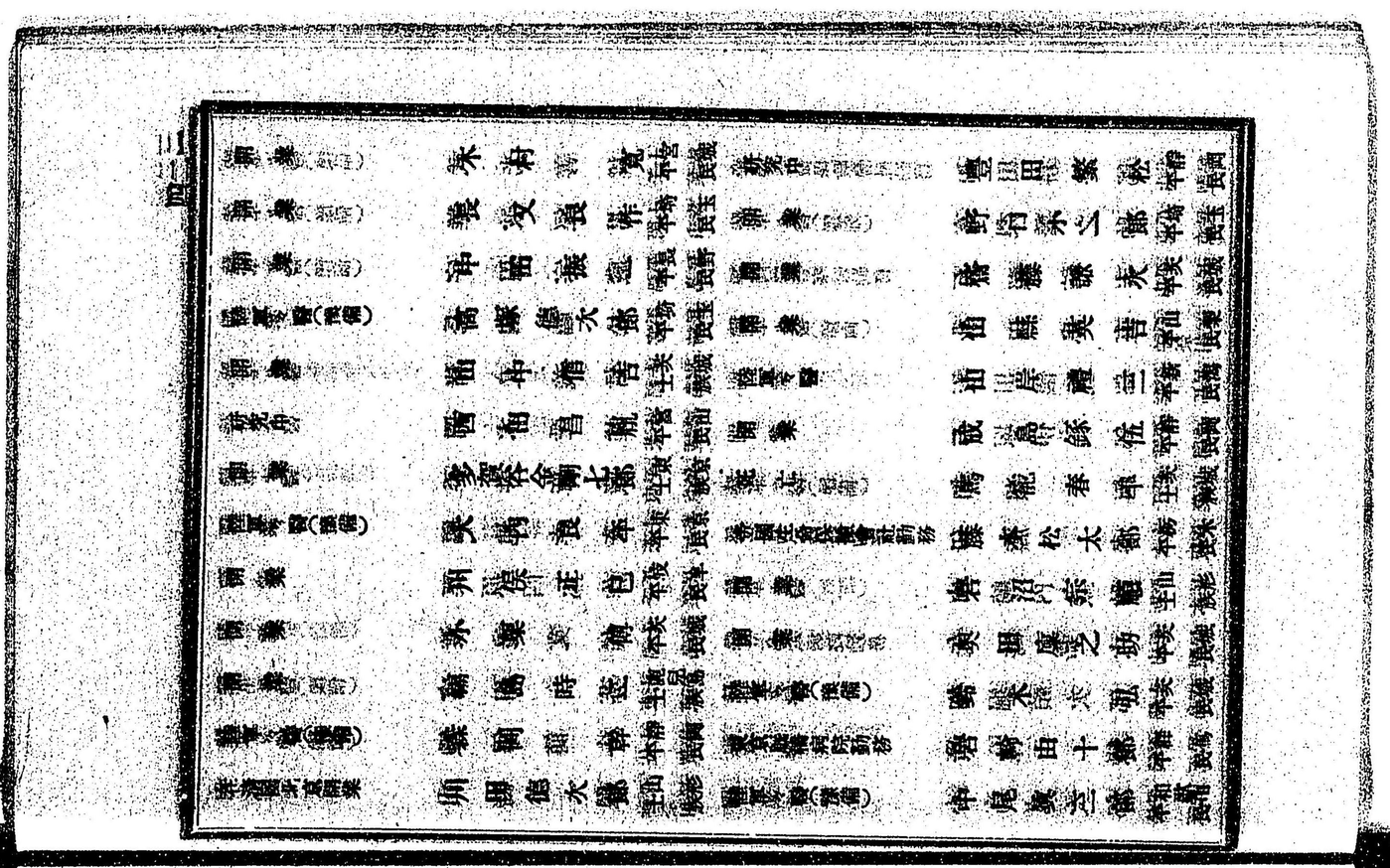
陸軍少將（旅團）　曾根惟昭　静岡県平民
陸軍少將（旅團）　林董　静岡県平民
陸軍少將（旅團）　林稚吾　鹿児島県士族
陸軍少將（旅團）　中島信行　高知県士族
陸軍少將（旅團）　中島錫胤　東京府士族
陸軍少將（旅團）　梅津政景　秋田県士族
陸軍少將（旅團）　関野春雄　静岡県平民
陸軍少將（旅團）　金澤一次郎　岩手県士族
陸軍少將（旅團）　野枝寧　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　志摩三郎　愛媛県士族
陸軍少將（旅團）　田邊輝實　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　岡澤精　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　渡邊昇　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　栗本鋭太郎　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　曲淵長利　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　中島信行　高知県士族

陸軍少將（旅團）　岡澤精　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　渡邊昇　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　栗本鋭太郎　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　曲淵長利　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　中島信行　高知県士族
陸軍少將（旅團）　原口要　熊本県士族
陸軍少將（旅團）　原田一道　静岡県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族
陸軍少將（旅團）　三浦梧樓　山口県士族

明治十三年中（自）
（至）
総計九十七人

陸軍々醫	原田精二	土福	福岡縣廳病院勤務	陸軍々醫	杉本秀一郎	平福	福井	陸軍々醫	中澤達三	平長	長野	陸軍々醫(豫備)	櫻本鑛太郎	平山	平福
陸軍々醫	申澤達三	平長	長野	陸軍々醫(豫備)	櫻本鑛太郎	平山	平福	開業	野本正三郎	土愛	愛媛	死亡	甘粕完策	平宮	宮城
開業	野本正三郎	土愛	愛媛	死亡	甘粕完策	平宮	宮城	陸軍々醫	菊池正雄	平茨	茨城	陸軍々醫	保本豐助	平岐	岐阜
陸軍々醫	菊池正雄	平茨	茨城	陸軍々醫	保本豐助	平岐	岐阜	明治生命保險會社勤務	熊谷於兎麿	土京	東京	大阪緒方病院勤務	後藤誠一	平愛	愛知
明治生命保險會社勤務	熊谷於兎麿	土京	東京	大阪緒方病院勤務	後藤誠一	平愛	愛知	開業	田中愼二郎	平新	新潟	開業	能藤誠一	平愛	愛媛
開業	田中愼二郎	平新	新潟	開業	能藤誠一	平愛	愛媛	陸軍々醫(豫備)	熊谷修	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	菅田能一	平神	兵庫
日本郵船會社勤務	熊谷修	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	菅田能一	平神	兵庫	開業	湯淺勝太郎	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼
開業	湯淺勝太郎	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼	陸軍々醫(豫備)	吉田司	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼
陸軍々醫(豫備)	吉田司	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼	開業	永瀨清司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼
開業	永瀨清司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼	陸軍々醫(豫備)	有賀鄰	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼
陸軍々醫(豫備)	有賀鄰	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼	開業	清水清司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼
開業	清水清司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼	陸軍々醫(豫備)	藏重章	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼
陸軍々醫(豫備)	藏重章	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼	開業	吉田司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼
開業	吉田司	平埼	兵埼	開業	須田能太郎	平福	兵埼	陸軍々醫(豫備)	湯淺勝太郎	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼
陸軍々醫(豫備)	湯淺勝太郎	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	須田能太郎	平福	兵埼	開業	熊谷修	平神	兵庫	開業	菅田能一	平神	兵庫
日本郵船會社勤務	熊谷修	平神	兵庫	開業	菅田能一	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	田中愼二郎	平新	新潟	陸軍々醫(豫備)	菅田能一	平神	兵庫
開業	田中愼二郎	平新	新潟	陸軍々醫(豫備)	菅田能一	平神	兵庫	明治生命保險會社勤務	熊谷於兎麿	土京	東京	大阪緒方病院勤務	後藤誠一	平愛	愛知
明治生命保險會社勤務	熊谷於兎麿	土京	東京	大阪緒方病院勤務	後藤誠一	平愛	愛知	陸軍々醫	菊池正雄	平茨	茨城	陸軍々醫	保本豐助	平岐	岐阜
陸軍々醫	菊池正雄	平茨	茨城	陸軍々醫	保本豐助	平岐	岐阜	開業	野本正三郎	土愛	愛媛	死亡	甘粕完策	平宮	宮城
開業	野本正三郎	土愛	愛媛	死亡	甘粕完策	平宮	宮城	陸軍々醫	申澤達三	平長	長野	陸軍々醫(豫備)	櫻本鑛太郎	平山	平福
陸軍々醫	申澤達三	平長	長野	陸軍々醫(豫備)	櫻本鑛太郎	平山	平福	陸軍々醫	原田精二	土福	福岡縣廳病院勤務	陸軍々醫	杉本秀一郎	平福	福井

開業	山縣繁	平神奈川	神奈川	開業	前原大助	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	織田簡二	平佐	鹿兒島	陸軍々醫	藤本十藏	平神	兵庫
陸軍々醫(豫備)	織田簡二	平佐	鹿兒島	陸軍々醫	藤本十藏	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	富田芳	土京	東京	陸軍々醫	掘前欠郎	平福	兵庫
陸軍々醫(豫備)	富田芳	土京	東京	陸軍々醫	掘前欠郎	平福	兵庫	開業	渡邊文雄	土福	鹿兒島	縣立病院勤務	矢崎嘉六	平山	長崎
開業	渡邊文雄	土福	鹿兒島	縣立病院勤務	矢崎嘉六	平山	長崎	開業	原四郎作	平千	千葉	陸軍々醫	山崎丙藏助	平栃	長木
開業	原四郎作	平千	千葉	陸軍々醫	山崎丙藏助	平栃	長木	開業	飛井新藏	平京	京都	縣立病院勤務	伊藤泰藏	平大	大阪
開業	飛井新藏	平京	京都	縣立病院勤務	伊藤泰藏	平大	大阪	陸軍々醫(豫備)	平井新藏	平京	京都	陸軍々醫(豫備)	加瀨恒	平千	千葉
陸軍々醫	平井新藏	平京	京都	陸軍々醫(豫備)	加瀨恒	平千	千葉	陸軍々醫	岡本愛雄	土茨	茨城	開業	戶塚伊三郎	平神	兵庫
陸軍々醫	岡本愛雄	土茨	茨城	開業	戶塚伊三郎	平神	兵庫	陸軍々醫	蔣又義信	土福	鹿兒島	開業	坂田儀三郎	平福	兵庫
陸軍々醫	蔣又義信	土福	鹿兒島	開業	坂田儀三郎	平福	兵庫	開業	長池龍松	平宮	兵庫	陸軍々醫(豫備)	秋田忠直	平神奈	神奈川
開業	長池龍松	平宮	兵庫	陸軍々醫(豫備)	秋田忠直	平神奈	神奈川	陸軍々醫(豫備)	守田宗藏	平福	兵島	縣岡縣警察部勤務	酒瀨祐貴	平山	長崎
陸軍々醫(豫備)	守田宗藏	平福	兵島	縣岡縣警察部勤務	酒瀨祐貴	平山	長崎	陸軍々醫(豫備)	舞波經男	土岡	兵山	陸軍々醫(豫備)	高梨繁之助	平埼	兵埼
陸軍々醫(豫備)	舞波經男	土岡	兵山	陸軍々醫(豫備)	高梨繁之助	平埼	兵埼	陸軍々醫(豫備)	武末善雄	土千	千葉	帝國生命保險會社勤務	和田耕造	平山	長梨
陸軍々醫(豫備)	武末善雄	土千	千葉	帝國生命保險會社勤務	和田耕造	平山	長梨	開業	前原大助	平神	兵庫	陸軍々醫	藤本十藏	平神	兵庫
開業	山縣繁	平神奈川	神奈川	開業	前原大助	平神	兵庫	陸軍々醫(豫備)	織田簡二	平佐	鹿兒島	陸軍々醫	藤本十藏	平神	兵庫



開業（眼科）　福井県泰遊平民　兵庫県
開業　飯田清太郎士族　山口県
埼玉県技師（兼任）　鈴木満士族　静岡県
陸軍々醫（補充員）　清水磐平民　長野県
陸軍中醫（徴集）　藤原喜代蔵平民　埼玉県
開業　岡田隼次平民　岐阜県
開業　宮原立太郎平民　岡山県
開業　笠原音藏平民　神奈川県
陸軍々醫（徴集）　落合禮助平民　長崎県
開業（大正四年）　御供長陽士族　秋田県
開業　飯村利内平民　長崎県
陸軍々醫（徴集）　小高俊平民　岡山県
開業　千葉君藏平民　神奈川県
陸軍々醫　衣斐賢治平民　岐阜県
陸軍々醫　小林龍分一郎平民　群馬県
陸軍々醫　齋田三郎平民　愛知県
開業　井上清良士族　鹿児島県
陸軍々醫（徴集）　篠崎清平民　東京
陸軍中醫（徴集）　中川鎗四平民　熊本県
開業　安山元大進士族　福岡県
開業　千葉善雄平民　岩手県
陸軍々醫（補充員）　小島伯揚平民　兵庫県
陸軍中醫（徴集）　溝井孝士平民　静岡県
開業　植松禎造士族　山梨県
陸軍々醫（徴集）　伴野廣平民　静岡県
開業　宮田義一平民　栃木県
陸軍々醫　衣斐賢治平民　岐阜県
陸軍々醫　小林龍分一郎平民　群馬県
陸軍々醫　齋田三郎平民　愛知県
開業　井上清良士族　鹿児島県
陸軍々醫（徴集）　篠崎清平民　東京

研究中　小原澤一平民　群馬県
陸軍々醫（補充員）　後藤源武士族　東京府
陸軍々醫（補充員）　鹿島庭平俊一郎士族　鹿児島県
日本赤十字社勤務　平野藤吉平民　栃木県
海軍軍醫（徴集）　申條貢俊士族　福井県
開業　丙田垣三平民　島根県
陸軍々醫（補充員）　須賀源次郎平民　群馬県
陸軍々醫（補充員）　黒木金槌士族　鹿児島県
陸軍々醫（補充員）　花岡兵正士族　長野県
陸軍々醫（補充員）　武部善重平民　鳥取県
日本赤十字社勤務　犯川俊敬禮平民　長崎県
開業　中村當治士族　兵庫県
開業　神林竹之助平民　群馬県
陸軍々醫（補充員）　中島彦太郎平民　群馬県
陸軍々醫（補充員）　岩山本治正士族　北海道
陸軍々醫（補充員）　增淵直平民　山梨県
陸軍々醫（補充員）　玉田正勞士族　鹿児島県
開業　坂元豐助士族　鹿児島県
開業　矢柴知章平民　山梨県
陸軍歩兵少尉（補充員）　枥浦長次郎平民　山形県
研究中　申井一平民　鳥取県
開業　荒木荒之助平民　千葉県
開業　酒井俊二平民　静岡県
開業　相澤四郎平民　埼玉県
開業　申林孝芸平民　三重県
開業　增淵直平民　山梨県
陸軍々醫（補充員）　玉田正勞士族　鹿児島県
開業　坂元豐助士族　鹿児島県
開業　矢柴知章平民　山梨県
陸軍歩兵少尉（補充員）　枥浦長次郎平民　山形県

陸軍々醫　南山寛司　千葉縣平民　開業
研究中　笠原寛一　岐阜縣平民　陸軍々醫
陸軍々醫（豫備）　柯津倉藏　栃木縣平民　陸軍々醫（豫備）
開業　坂本武次郎　茨城縣平民　開業
陸軍々醫（豫備）　最哭雅　埼玉縣平民　開業（退役陸軍々醫）
開業　御藤豊吉　鹿兒島縣士族　德島市病院勤務
開業　川本恭次　兵庫縣平民　開業
相州平塚杏雲堂分院勤務　稲積隆三　神奈川縣平民　開業（豫備）
研究中　布袋喜長　山梨縣平民　開業
陸軍々醫（後備）　富島貞吉　東京府士族　陸軍々醫（豫備）
開業　墨原直二郎　千葉縣士族　開業
陸軍々醫（豫備）　内藤順壽　東京府平民　東京府和大學醫院（內科）勤務
陸軍々醫　坂谷智一郎　埼玉縣士族　研究中

開業　富士治男　東京府平民　開業
陸軍々醫　笠原公平　岐阜縣平民　陸軍々醫
陸軍々醫（豫備）　御供信造　山形縣士族　陸軍々醫（豫備）
開業　相澤正彦　茨城縣士族　開業
陸軍々醫（豫備）　戸崎哲夫郎　鳥取縣士族　開業（退役陸軍々醫）
開業　御藤慶壽　千葉縣平民　德島市病院勤務
開業　中山德夫郎　新潟縣平民　開業
陸軍々醫（豫備）　菊池金冗郎　秋田縣平民　開業
相川檢疫事務取扱勤務　馬淵貞司　静岡縣平民　開業
開業　荒谷典雄　宮城縣平民　開業
陸軍々醫（豫備）　岡田龜夫郎　埼玉縣平民　開業
開業　兎津壽作　千葉縣平民　開業
研究中　富士林吉基　埼玉縣平民　開業

研究中　鹽坊敏馬　廣島縣平民　研究中
高松重病勤務　矢田部來太郎　廣島縣平民　仁壽生命保險會社勤務
陸軍々醫　高梨治太郎　千葉縣平民　研究中
陸軍々醫（豫備）　外村宗平　群馬縣平民　開業
陸軍々醫（豫備）　杉田直次郎　新潟縣平民　開業
東京精國病院勤務　平村鐵太郎　静岡縣平民　陸軍々醫（豫備）
明治三十五年十一月　九千四八　新潟縣一　江藤一　岡山縣　研究中
私立山業病院勤務　鴨戸治太郎　埼玉縣平民　開業
陸軍々醫　鈴木俊河　千葉縣平民　静岡縣小笠郡私立本間病院勤務
陸軍々醫（豫備）　新津泰策　埼玉縣平民　醫術開業試驗附屬病院勤務
開業　松本靜海　静岡縣平民　陸軍々醫
研究中　鹽藤常勝　静岡縣平民　濟藥院技手
東京川村小兒科醫院勤務　里原八九十　群馬縣平民　開業

陸軍々醫　田山卷六　北海道平民　研究中
陸軍々醫　岩崎公平　栃木縣士族　陸軍々醫
陸軍々醫（豫備）　編島喜雄　埼玉縣平民　開業
開業　宮崎禮動　岩手縣士族　開業
陸軍々醫（豫備）　大槻武也　東京府士族　陸軍々醫（豫備）
研究中　江藤一　岡山縣　研究中
開業　岡島雄　千葉縣平民　開業
陸軍々醫　岩崎新一郎　静岡縣平民　陸軍々醫
陸軍々醫（豫備）　中山茂樹　長野縣平民　陸軍々醫（豫備）
陸軍々醫　長招喜進　埼玉縣平民　陸軍々醫
開業　大和田敬實　長野縣士族　開業
陸軍々醫　廣田義　千葉縣平民　陸軍々醫

陸軍々醫	和田尙橘	和歌山 平民	京都醫科大學醫院(産科婦人科)勤務	賀川滿陽	大阪 士族
陸軍軍醫(豫備)	加藤薫	鳥取 士族	開業	井出鐵造	長野 平民
開業	小清水壽平	神奈川 平民	東京江東病院勤務	長井喜勣	長野 平民
開業	根守秀夫	北海道 平民	盛岡市東北病院勤務	河野誠一	千葉 平民
陸軍々醫(豫備)	多田愛治	茨城 平民	開業	中島四郎	新潟 平民
縣立千葉病院勤務	神谷良平	千葉 平民	開業	青島忠敬	長野 平民
秋田縣町立米内澤病院勤務	野村仁一郎	茨城 平民	陸軍軍醫(豫備)	師岡鶴一	長野 平民
開業	江澤貞治	千葉 平民	陸軍々醫	玉越與一	東京 士族
研究中	淺葉鳳藏	神奈川 平民	死亡	井淵東洋	茨城 平民
陸軍々醫	青野順三郎	茨城 平民	開業	葉科開三	長野 平民
開業	伊東常太郎	茨城 平民	陸軍々醫(豫備)	藤原勘三郎	長野 平民
開業	毛利米之助	神奈川 平民	開業	堀江冬年	神奈川 平民
研究中	清水要德	新潟 平民	開業	片山嘉代吉	三重 平民

開業	中條守智	長野 平民	陸軍々醫(豫備)	吉澤群藏	新潟 平民
縣立千葉病院勤務	牧子幸造	[illegible] 平民	東京醫科大學醫院(内科)勤務	君塚莊造	千葉 平民
開業	杉本米榮	靜岡 平民	陸軍々醫	吉岡鐵平	埼玉 平民
香川縣町立琴平病院勤務	一戶謙爽	岩手 平民	研究中	駒嶌陽四	兵庫 士族
市立靜岡病院勤務	松村叔藏	靜岡 平民	研究中	本間等	靜岡 平民
研究中	宇賀村金吾	東京 士族	研究中	矢崎慶三	長野 士族
開業	高野七郎	茨城 平民	研究中	小松與四郎	栃木 平民
陸軍々醫(豫備)	河面勞雄	茨城 士族	陸軍々醫(豫備)	長谷川[illegible]三郎	長野 平民
研究中	赤羽學	長野 平民	開業	松村準一郎	山梨 平民
陸軍軍醫	渡邊直芳	茨城 平民	陸軍々醫(豫備)	田中惟一	神奈川 平民
北海道炭礦鐵道會社勤務	高柳鍬太郎	靜岡 平民	東京醫科大學醫院(内科)勤務	宮部繼明	岐阜 平民
開業	石井虎之助	千葉 士族	開業	橋詰常直	長野 士族
開業	松山直三	鹿兒島 士族	陸軍々醫	佐藤克巳	山形 平民

陸軍軍醫（現備）　齋藤幸三　千葉　士族
陸軍軍醫（現備）　古屋忠三　山梨　平民　研究中
陸軍々醫　塩澤良木　長野　平民　陸軍工兵中尉（現備）
米國留學　川崎新次　福岡　平民　陸軍々醫（現備）
日本赤十字社勤務　高橋養助　東京　士族
開業（醫）　花岡四郎　長野　平民　研究中
陸軍軍醫（現備）　三宅よ新　長野　平民　開業（醫）
陸軍軍醫（現備）　木村義春　栃木　平民　陸軍々醫（現備）
開業（醫）　小澤雄藏　福島　平民
横濱病院勤務　青木鵬齋　神奈川　平民　開業（醫）
大阪生命保險會社勤務　小川東奈　神奈川　平民　陸軍々醫（現備）
陸軍軍醫（現備）　齋尾已之助　千葉　平民　開業（醫）
横濱病院勤務　津吳幹樹　埼玉　士族　開業（醫）

陸軍軍醫（現備）　齋藤幸三　千葉　士族　千葉監獄勤務
開業　古屋忠三　山梨　平民　研究中
陸軍々醫　塩澤良木　長野　平民　陸軍工兵中尉（現備）
米國留學　川崎新次　福岡　平民　陸軍々醫（現備）
日本赤十字社勤務　高橋養助　東京　士族　開業
開業（醫）　花岡四郎　長野　平民　研究中
陸軍軍醫（現備）　三宅よ新　長野　平民　開業（醫）
陸軍軍醫（現備）　木村義春　栃木　平民　陸軍々醫（現備）
開業　小澤雄藏　福島　平民　看護婦産婆
横濱病院勤務　青木鵬齋　神奈川　平民　開業（醫）
大阪生命保險會社勤務　小川東奈　神奈川　平民　陸軍々醫（現備）
陸軍軍醫（現備）　齋尾已之助　千葉　平民　開業（醫）
横濱上海佛租界第一醫院勤務　津吳幹樹　埼玉　士族　開業（醫）

陸軍軍醫　細根三藏　千葉　平民　千葉監獄勤務
秋田縣知事立米内澤病院勤務　岸桐藏忠　山形　平民　開業（醫）
開業　明治五十六年中ニ死亡
縣立千葉病院勤務　高川春奧　神奈川　平民　縣立千葉病院勤務
東京醫科大學醫院（內科）勤務　佐々木清作　岩手　士族　東京醫科大學醫院（內科）勤務
陸軍軍醫（現備）　佐々木清作　岩手　士族　陸軍軍醫少尉（現備）
陸軍々醫　寺野、藤吉　岡山　平民　陸軍々醫
陸軍軍醫（現備）　秀野喜智　愛知　平民　二年志願
日本赤十字社勤務　横田仲助　栃木　平民　東京江東病院勤務
米國留學　鈴木壽貴治　千葉　平民　千葉佐山堂病院勤務
縣立千葉病院勤務　杤山孫樹　千葉　平民　縣立千葉病院勤務
陸軍々醫　野田章一　山梨　平民　陸軍々醫
陸軍々醫　鞍村宗吉　長野　平民　陸軍軍醫學校（現備）
日本生命保險會社勤務　小澤榮一　長野　平民　開業

陸軍軍醫　細根三藏　千葉　平民　千葉監獄勤務
秋田縣知事立米内澤病院勤務　岸桐藏忠　山形　平民　開業（醫）
開業　明治五十六年中ニ死亡
縣立千葉病院勤務　高川春奧　神奈川　平民　縣立千葉病院勤務
東京醫科大學醫院（內科）勤務　佐々木清作　岩手　士族　東京醫科大學醫院（內科）勤務
陸軍軍醫（現備）　佐々木清作　岩手　士族　陸軍軍醫少尉（現備）
陸軍々醫　寺野、藤吉　岡山　平民　陸軍々醫
陸軍軍醫（現備）　秀野喜智　愛知　平民　二年志願
日本赤十字社勤務　横田仲助　栃木　平民　東京江東病院勤務
米國留學　鈴木壽貴治　千葉　平民　千葉佐山堂病院勤務
新潟縣北魚沼郡小千谷町共立病院勤務　杤山孫樹　千葉　平民　縣立千葉病院勤務
陸軍軍醫（現備）　野田章一　山梨　平民　陸軍々醫
陸軍々醫　鞍村宗吉　長野　平民　陸軍軍醫學校（現備）
日本生命保險會社勤務　小澤榮一　長野　平民　開業

醫術開業試驗附屬病院勤務　石黒春秋　平　新潟　陸軍々醫

陸軍々醫　川口恒造　平　神奈川　静岡縣公立伊豆病院勤務

縣立千葉病院勤務　齋藤源次郎　中　千葉　研究中

研究中　内藤誠意　平　廣島　陸軍々醫

開業　水山惠一郎　平　新潟　陸軍々醫

陸軍々醫　飯田宗藏　平　千葉　研究中

研究中　高梨清　平　千葉　研究中

縣立千葉病院勤務　井垂耕司　平　静岡　開業

開業　嘉多山次郎吉　平　福岡　陸軍々醫

陸軍々醫　高橋隆寶　平　茨城　陸軍々醫

開業　青木正之輔　平　千葉　開業十六ノ八

陸軍々醫　池田朝太郎　平　東京　陸軍々醫

研究中　中島一勉　平　千葉　三重志願

陸軍々醫　大野久次郎　平　宮崎　陸軍々醫

静岡縣公立伊豆病院勤務　伏島眞三雄　平　群馬　陸軍々醫

研究中　花島習之　平　静岡　陸軍々醫

陸軍々醫　秀十戸竹三郎　平　栃木　陸軍々醫

陸軍々醫　藤井正翼　士　静岡　陸軍々醫

研究中　服部長勝　平　岐阜　陸軍々醫

研究中　杉原廉二郎　平　滋賀　研究中

開業　清水惇　平　神奈川　開業

陸軍々醫　大竹邦保　士　東京　陸軍々醫

陸軍々醫　松田等　士　和歌山　陸軍々醫

開業　梅津元信　平　山形　開業十六ノ八

陸軍々醫　幣陸將光　平　茨城　陸軍々醫

研究中　右田良平　平　静岡　三重志願

陸軍々醫　大戸譲　士　東京　陸軍々醫

陸軍々醫　高橋義三　平　茨城　日本赤十字社勤務

陸軍々醫　山崎眞　平　三重　研究中

開業　高橋錢次郎　平　千葉　開業

東京江東病院勤務　金坂重喜　平　千葉　開業

東京醫科大學醫院（眼科）勤務　後藤貞雄　士　東京　北海道公立札幌病院勤務

研究中　鈴木重太郎　平　静岡　北海道公立札幌病院勤務

研究中　古車昇　士　香川　研究中

研究中　塚原文吉　平　茨城　東京本所佐々木病院勤務

日本赤十字社勤務　石原新　士　栃木　陸軍々醫

相州平塚杏雲堂分院勤務　吉橋正已　士　栃木　研究中

東京山龍堂病院勤務　井上邦三　平　東京　陸軍騎兵少尉（豫備）

開業　遠藤善太郎　平　山形　東京醫科大學醫院（外科）勤務

陸軍々醫（豫備）　武光秀次　平　埼玉　陸軍々醫

後藤山二子　平　大分　日本赤十字社勤務

高地郁　平　千葉　研究中

栗木菊次郎　平　愛知　開業

佐藤簡　平　宮城　開業

三上正通　平　青森　北海道公立札幌病院勤務

多田明助　平　千葉　北海道公立札幌病院勤務

浦島太三郎　平　千葉　古車昇に同じ

河野三中代　士　埼玉　塚原文吉に同じ

岡本貫　士　東京　石原新に同じ

川邊豐作　平　東京　吉橋正已に同じ

川口與四郎　平　梨　井上邦三に同じ

杉浦敎成　士　東京　遠藤善太郎に同じ

陸軍々醫
嘉納完三 東京平民 東京醫科大學醫院(內科)勤務
池松嘉熊 鹿兒島士族

東京目高眼科醫院勤務
堀內正宏 神奈川平民 開業
飯塚文太 栃木平民

陸軍々醫
廣澤讓 茨城平民 研究中
菅最勝 岐阜平民

縣立千葉病院勤務
生田能治 愛知平民 研究中
西村正沖 千葉平民

陸軍々醫
松浦透 茨城平民 日本赤十字社勤務
市川由廣 福島平民

臺灣臺中醫院勤務
南嵩壘 福島士族 開業
佐久間崇一 千葉平民

陸軍々醫(豫備)
飯島道太郎 東京平民 研究中
榊原芳佐 長野平民

研究中
秦開玄一郎 新潟平民 開業
荻谷工一郎 神奈川平民

開業
平野長彝 東京平民 東京江東病院勤務
岡部生駒 長野士族

研究中
伊藤保三郎 東京平民 岐阜縣私立大垣病院勤務
不由助長治 長野平民

研究中
名出國太郎 和歌山平民 研究中
岸政吉 長野平民

陸軍々醫(豫備)
庄司義三郎 茨城平民 陸軍々醫(豫備)
參和田九王 岐阜平民

外國留學生

醫學科修了生

千葉醫學專門學校

明治三十六年十一月 一人

日本赤十字社病院研究中
朴宗桓 韓國京城

藥學科卒業生

第一高等中學校醫學部

明治廿七年三月 七人

陸軍藥劑官(後備)
瀨川林次郎 靜岡平民 陸軍藥劑官
松村勘一郎 東京士族

第五高等學校講師
峯下眞三郎 熊本士族 警視廳技手
鵜澤正路 千葉平民

陸軍藥劑官(後備)
秋山圓次郎 靜岡平民 陸軍藥劑官
山縣鎮雄 東京士族

死亡
楠本英三郎 千葉平民

明治廿八年三月 二人

死亡
榎本恒雄 福岡士族 陸軍藥劑官
磯部保 茨城士族

第一高等學校醫學部

明治廿九年三月　五人

陸軍薬剤官(豫備)　國松眞三郎　千葉平民　新潟縣技手(退役陸軍薬剤官)　安田光三　千葉平民
陸軍薬剤官　西谷啓介　山口平民　鹿兒島稅務監督局技手　原田吉輔　東京士族
死亡　飯野四郎　埼玉平民

明治廿九年十一月　五人

陸軍薬剤官　川俣治郎　東京士族　陸軍薬剤官　中村仲次郎　岐阜平民
陸軍薬剤官　民野鐮太郎　群馬士族　當校助教授　關口愛介　京都士族
開業　外郎省三　神奈川平民

明治三十年十一月　十人

山形縣濟世病院勤務　三橋式次　千葉平民　陸軍薬剤官(豫備)　須田喜一　茨城平民
陸軍薬剤官　三本松清吉　香川士族　陸軍薬剤官(豫備)　安井一雄　東京士族
開業　西部金一郎　岐阜平民　陸軍薬剤官(豫備)　中村次郎　東京士族

陸軍薬剤官　魚住蕙也　福井士族　日本赤十字社勤務　保坂正四　群馬士族
陸軍薬剤官(豫備)　松尾義夫　東京士族　横濱稅務監督局技手兼稅務屬　日根野弘勝　東京士族

明治三十一年十二月　六人

陸軍薬剤官(豫備)　小泉治三郎　埼玉平民　開業　谷英太郎　栃木平民
陸軍薬剤官(豫備)　米城豐三郎　宮城平民　陸軍薬剤官　加納光久　鳥取士族
陸軍薬剤官　倉橋三郎　東京士族　千葉縣立銚子中學校教諭　須田明三　東京士族

明治三十二年十一月　八人

陸軍薬剤官(豫備)　大原俊次　長野平民　名古屋稅務監督局技手　小林芳香　東京士族
警視廳技手　黒澤文七　宮城平民　開業　山崎小麓　東京士族
陸軍薬剤官(豫備)　八木龜錄　福井平民　東京衛生試驗所技手　村形東之助　東京平民
開業　佐藤廣治　秋田平民　縣立千葉病院勤務　白木第三郎　熊本士族

明治三十三年十一月　七人

齋田順　千葉平民　陸軍薬剤官(豫備)　岡內德次郎　香川士族

陸軍藥劑官（豫備）　岸本芳三　千葉　平民　開業

陸軍藥劑官　渡邊岩太郎　香川　平民　譯岡縣尋常師範學校豆陽學校教諭

陸軍藥劑官　矢部二一　東京　平民

千葉醫學專門學校

明治三十四年十一月　拾壹人

陸軍藥劑官（豫備）　若森直良　千葉　士族　愛媛縣立松山高等女學校教諭

神戶役務監督局岡山稅務署技手　久木田實哉　鹿兒島　士族　警視廳勤務

陸軍藥劑官（豫備）　布留川新三郎　千葉　平民　東京市衛生試驗所勤務

陸軍藥劑官（豫備）　鐮木證夫　東京　士族　日本赤十字社勤務

陸軍藥劑官（豫備）　菊池武一　東京　士族　陸軍藥劑官（豫備）

香川縣書記　衛生課勤務　高尾源五郎　香川　平民

明治三十五年十二月　九人

西川六之助　京都　平民　陸軍藥劑官

宮崎芳之助　千葉　平民　開業

森桐三郎　靜岡　平民

閂屋器內　愛媛　士族

多紀鶴郎　東京　平民

橋本善之助　神奈川　平民

仁科盛堅　山形　士族

吉村儁作　奈良　士族

小篠武雄　神奈川　平民

陸軍藥劑官（豫備）　鈴木忠兵衛　山梨　平民　開業

香川縣書記　衛生課勤務　高世乙　山形　平民　陸軍藥劑官

研究中　高安佐一　茨城　平民　陸軍藥劑官（豫備）

陸軍藥劑官（豫備）　土田茂三郎　新潟　平民

明治三十六年十一月　十四人

陸軍藥劑官（豫備）　中原政太郎　埼玉　平民　陸軍藥劑官（豫備）

東京醫科大學助手　伊藤卿之助　東京　平民　陸軍藥劑官（豫備）

研究中　河野一直　大分　平民　陸軍藥劑官（豫備）

陸軍藥劑官（豫備）　一郷升　東京　平民　研究中

研究中　相田七之助　山形　平民　陸軍藥劑官

愛媛縣立松山中學校教諭　穗波龜三郎　京都　華族　開業

陸軍藥劑官（豫備）　山下良輔　埼玉　平民　研究中

黑澤利文　東京　平民

川口二郎　長野　士族

外山長兵衛　茨城　平民

武藤隣次　岡山　士族

淺葉百太郎　神奈川　平民

山田重雄　千葉　平民

藤井正次郎　秋田　平民

土屋惠三郎　群馬　平民

小西正和　神奈川　平民

手塚具治　山梨　平民

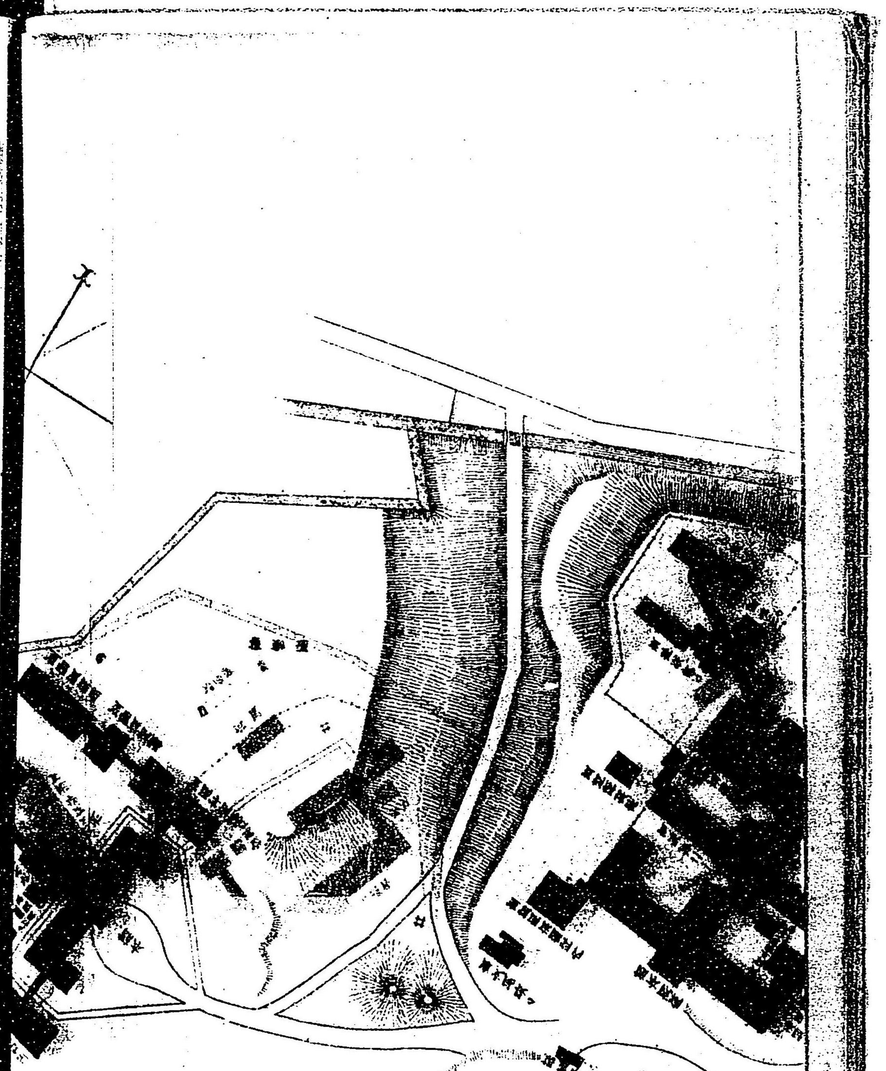
○第九章　卒業生及生徒府縣別一覽表

醫學科卒業生及生徒

府縣＼階級	卒業生	受驗生	四年生	三年生	二年生	一年生	計
北海道	六	〇	一	一	一	一	一〇
東京	八七	一二	六	一六	一一	九	一四一
京都	三	〇	一	一	一	〇	六
大阪	一〇	〇	〇	〇	〇	〇	一〇
神奈川	一九	五	一四	一三	六	三	四九
兵庫	一三	二	一	〇	〇	〇	一六
長崎	三	〇	〇	一	〇	〇	四
新潟	四五	七	八	九	一〇	一一	九〇
埼玉	四九	七	九	五	一一	九	九〇

府縣＼階級	卒業生	受驗生	四年生	三年生	二年生	一年生	計
群馬	三四	一	六	二	五	六	五四
千葉	一四三	一一	五	一五	一四	二〇	二〇七
茨城	七四	一〇	四	六	七	八	一〇九
栃木	四一	二	四	六	七	三	六三
奈良	三	一	〇	〇	〇	〇	四
三重	七	二	〇	一	二	二	一四
愛知	三四	〇	四	七	一一	二	五八
静岡	六六	六	八	八	二	七	九七
山梨	二八	五	四	四	二	五	四八
滋賀	四	〇	一	一	三	〇	九
岐阜	二四	二	二	一	二	三	三四
長野	六〇	八	一三	一二	一六	二〇	一二九
宮城	九	一	〇	一	〇	一	一三

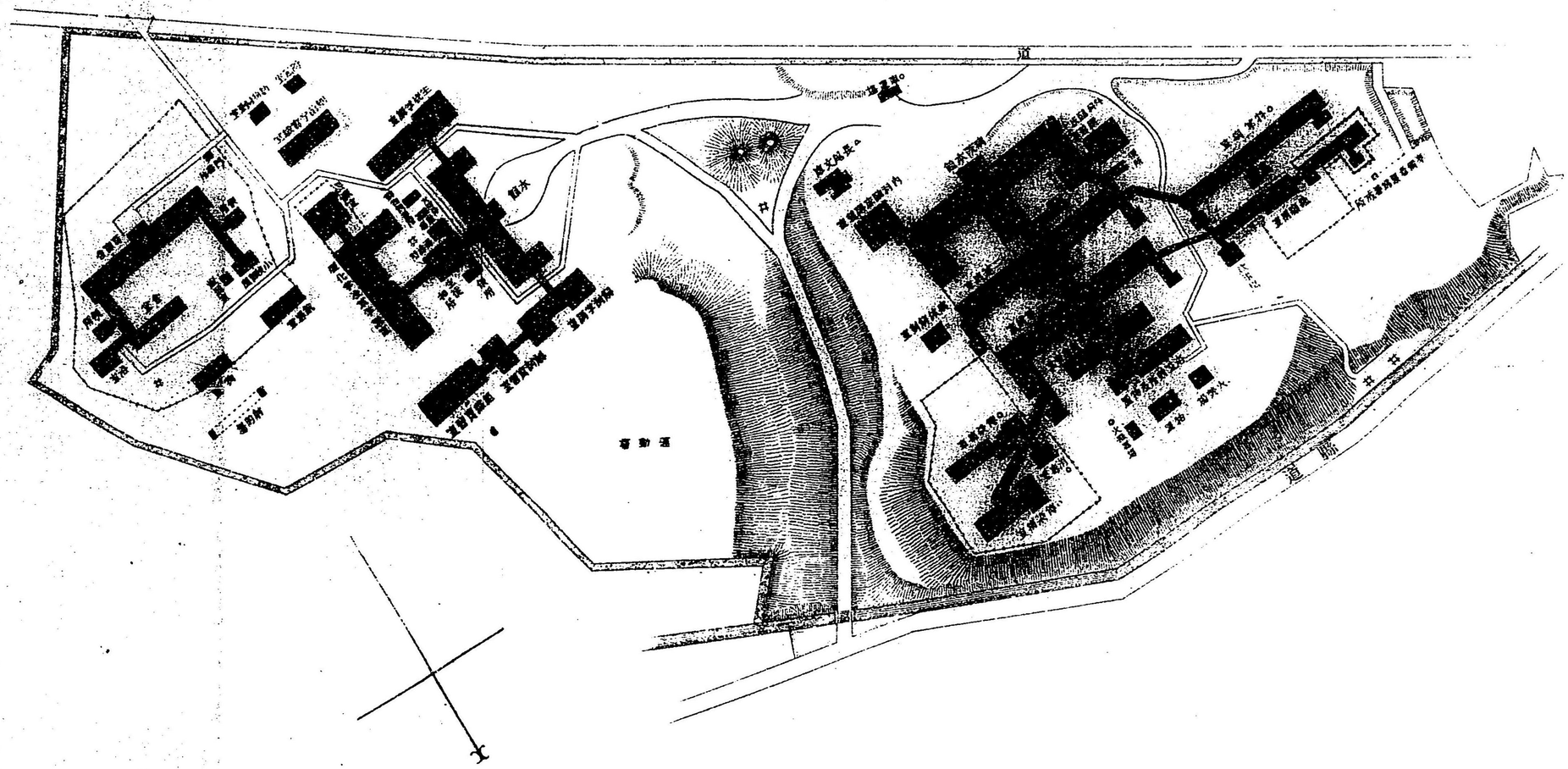
醫學專門學校略圖



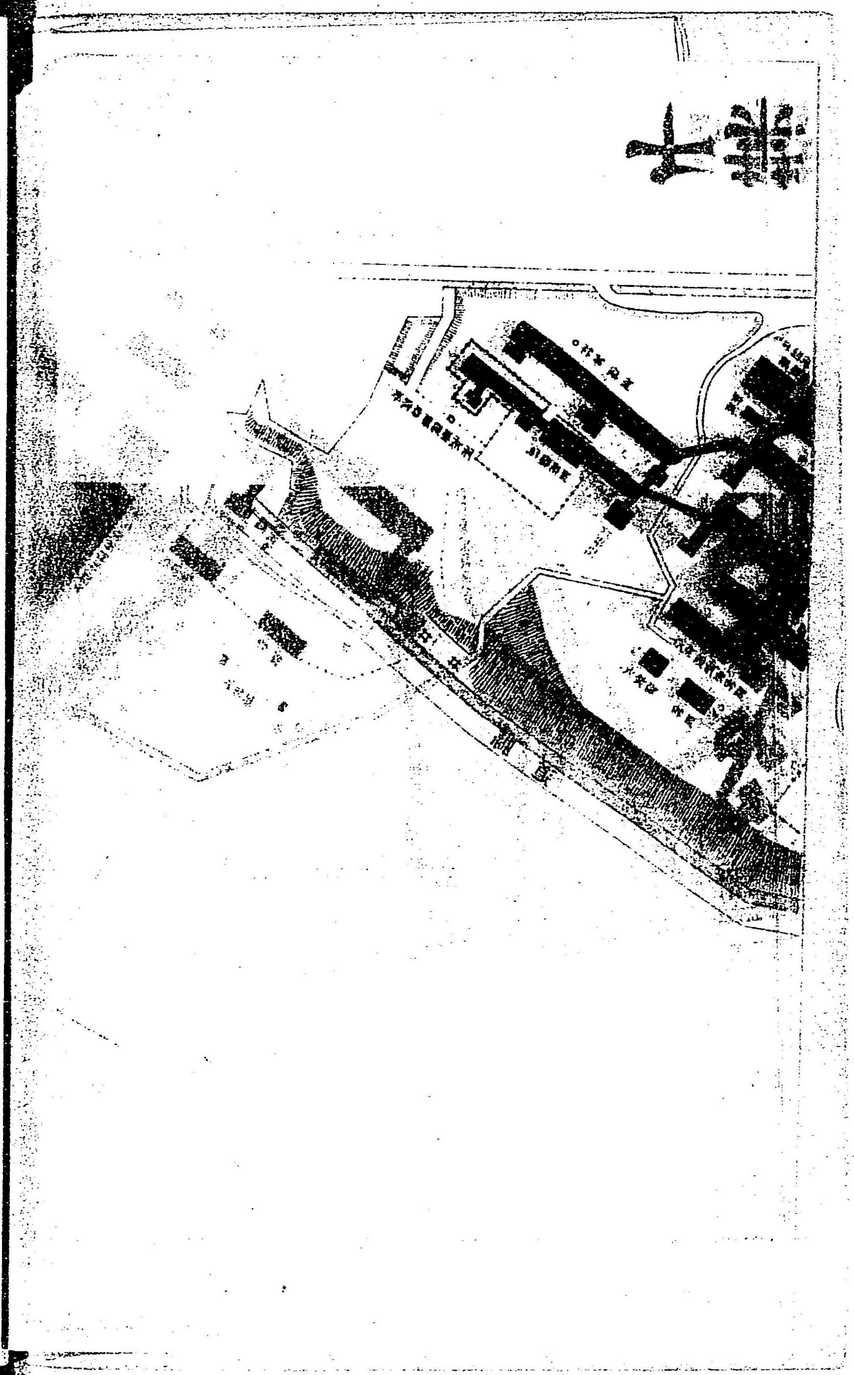
四圖二

府縣	生徒數	本科	豫科	別科	醫員	教員	助手	看護婦	産婆	藥劑師	藥劑手	合計
山口	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
廣島	七	四	三	一	一	一	一	一	一	一	一	七
岡山	六	四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	六
鳥取	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
島根	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
愛媛	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	三
高知	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
福岡	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
佐賀	五	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	五
長崎	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
熊本	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
大分	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
宮崎	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
鹿兒島	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
沖縄	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一
合計	一一	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一一

千葉醫學專門學校略圖



	和歌山	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄	計
九八二	九	〇	九	五	一	二四	九	六	八	六	一八	〇	
九四	〇	一一	一一	〇	一	二	〇	一	一	〇	〇	〇	
九四	〇	〇	三	〇	一	一	一	〇	〇	一	〇	〇	
一一〇	一	一	一	一	〇	一	一	〇	一	〇	一	二	
一三二	一	〇	〇	〇	二	二	一	〇	〇	一	四	〇	
一四一	三	二	三	一	二	三	一	三	一	〇	三	一	
一、五六三	一四	一三	一六	一四	一六	三〇	一三	九	一一	八	二六	三	



藥學科卒業生及生徒

府縣／階級	卒業生	受驗生	三年生	二年生	一年生	計
北海道	〇	〇	一	〇	一	二
東京	八二〇	一	一一	二	七	三一
京都	三	〇	〇	〇	〇	三
大阪	〇	一	〇	〇	〇	一
神奈川	五	〇	〇	一	一	七
新潟	一	〇	一	一	一	四
埼玉	四	〇	一	二	一	七
群馬	三	〇	一	二	一	七
千葉	一一	〇	一	二	三	一六
茨城	四	〇	〇	〇	一	五

府縣／階級	卒業生	受驗生	三年生	二年生	一年生	計
栃木	一	〇	二	一	〇	四
奈良	一	〇	〇	〇	〇	一
三重	八〇	二	一一	一	二	四
静岡	三	一	〇	三	二	九
山梨	二	〇	〇	〇	〇	二
岐阜	二	〇	一	〇	〇	三
長野	二	〇	〇	〇	〇	二
宮城	二	〇	〇	〇	〇	二
青森	〇	〇	一	一	〇	二
山形	三	〇	〇	〇	〇	三
秋田	三	〇	〇	〇	一	五
福井	二	〇	〇	〇	〇	二
鳥取	一	〇	〇	〇	〇	一

本籍	計	鹿兒島	熊本	大分	福岡	高知	愛媛	香川	山口	廣島	岡山
一	八四	一	二	一	一	〇	一	四	二	〇	一
〇	七	〇	〇	〇	二	〇	〇	一	〇	〇	〇
〇	一一	〇	〇	〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇
〇	一二	一	〇	〇	〇	一	〇	〇	〇	一	〇
〇	一二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	一四五	二	二	一	三	一	一	六	三	二	一

八四 外國留學生人員表

四、醫學科

國名＼階級	修了生	受驗生	四年生	三年生	二年生	一年生	計
韓國	一	〇	〇	〇	〇	一	二
清國	〇	〇	一	〇	一	四	六
計	一	〇	一	〇	一	五	八

五、藥學科本科

國名＼階級	修了生	受驗生	三年生	二年生	一年生	計
清國	〇	〇	〇	〇	二	二
計	〇	〇	〇	〇	二	二

第十章 敷地建物

第一節 敷地建物

○第十章 敷地建物

千葉醫學專門學校ノ敷地ハ千葉縣下總國千葉郡千葉町千葉猪之鼻ノ高丘ニ在リテ其面積ハ貳萬六千六百六拾五坪ナリ之ニ建設セル建物ノ面積ハ貳千五百參拾六坪六合參勺壹才トス內病院ニ屬スル建物千貳百貳拾六坪七合貳勺壹才ハ千葉縣ヘ貸渡サレ縣立千葉病院ト稱シ尙ホ千葉縣ニ於テ之ニ建物參百七拾四坪壹合九勺ヲ增築ス又敷地ノ內八百四拾坪ヲ旧本赤十字社千葉支部準備看護婦養成所建築敷地トシテ明治三十一年十一月ヨリ滿十五個年間貸渡サレ又六拾坪ヲ長尾文庫敷地トシテ使用スルコトヲ許可セラレタリ敷地建物ノ略圖左ノ如シ

略圖中

○印ハ千葉縣建築

□印ハ旧本赤平字社千葉支部建築

△印ハ長尾文庫建築

○附錄

一 會長 一名

一 理事 一名

附錄

一 校友會規則

第一條 本會ハ智德ヲ淬礪シ身體ヲ鍛鍊シ校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ千葉醫學專門學校々友會ト稱ス

第三條 本會ハ本校敎官卒業生(元醫學部卒業生共)生徒及本校ニ緣故アル者ヲ以テ組織シ敎官及卒業生ヲ特別會員生徒ヲ通常會員トス

本會ハ特ニ名譽會員ヲ推擧スルコトアルヘシ

敎官及生徒ハ總テ會員タルノ義務アルモノトス

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一　部　長　若干名
一　評議員　十五名
一　主計　一名
一　史掌　一名

第五條　役員ノ職務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　會長ハ評議會ノ決議ニ基キ本會ノ事務ヲ總理シ兼テ評議會ノ議長トナル
一　理事ハ本會ノ庶務會計ヲ監督シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
一　部長ハ各部ノ事務ヲ掌理ス
一　評議員ハ各學級ヲ代表シテ評議會ヲ列ス
一　主計ハ理事ノ指揮ヲ受ケ會計事務ニ從事ス
一　史掌ハ理事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第六條　會長ハ校長新任職員中ニ就キ史掌理事部長主計ヲ本校職員中ニ就キ史掌ノ職員ト否トヲ問ハス會長之ヲ囑託シ評議員ハ醫學科各學級ヨリ二名ツヽ藥學科各學級ヨリ一名ツヽ選出シ其任期ハ一個年トス但シ毎年九月改選ス但シ再選スルコトヲ得

評議員ニ缺員ヲ生シタルトキハ之ヲ補缺ス但補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第七條　本會ヲ分チ左ノ八部トス

一　學術部
一　陸上運動部
一　端艇部
一　擊劍部
一　柔道部
一　弓術部

七　ベースボール部
八　ロンテニス部

第八條　本會ニ關スル事件ハ總テ評議會ノ決議ニ依リテ之ヲ定ム但

議件ハ豫メ通告ス

第九條　評議會ハ會長理事部長三名及評議員ヲ以テ組織シ會長之ヲ召集ス但出席部長ハ互選トス

議事ニ關シ必要アルトキハ各部長及委員ヲシテ列席セシムルコトアルベシ

評議會ハ總員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ

ルコトヲ得ス

議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數カルトキハ議長ノ決スル所ニ依

第十條　會費ハ七八兩月ヲ除キ教官ハ俸給月額百分ノ二生徒ハ一

個月金拾五錢トス但生徒ノ會費ハ第二學期ニ於テ四個月分第三第三學期ニ於テ三個月分ヲ

第十一條　新タニ入會スル者ハ入會料トシテ金壹圓ヲ納ムルモノト

第十二條　各部ノ費用ハ之ヲ補助ス

第十三條　本會ノ會計年度ハ學年ニ依リ毎年度ノ始メ評議會ニ於テ本會ノ豫算ヲ議定シ兼テ前年度ノ決算ヲ理事ヨリ報告ス

第十四條　本規則ノ改正ハ會長ノ提出ニ係ル者ノ外會員三十名以上ノ賛成ヲ得ルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第十五條　學術部ノ規則ヲ定ムルコト左ノ如シ但其細則竝ニ他諸部ノ規則ハ各部自ラ之ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クヘシ其改正スルトキ亦同シ

學術部

第十條　本部ニ同級會、細菌學研究會、外科學研究會、眼科學研究會、雜誌編輯係ヲ置ク

第二條　同級會ハ學級ノ整理ヲ計リ各學級生徒共同的精神ヲ以テ互ニ生徒心得ノ實行ニ努メ生徒ノ氣風ヲ修養スルヲ以テ目的トシ衆ヲ學術上ノ談話ヲ爲シ相互ノ智識ヲ交換シ交誼ヲ親密ナラシムルモノトス

同級會ハ各學級受持教官並ニ生徒ヲ以テ級別ニ組織ス

但藥學科ハ一級ト見做ス

同級會ハ各學期試驗ヲ除キ毎月一回談話會ヲ開ク但時々各學級ヲ合セテ開會スルコトアルヘシ

第三條　細菌學研究會、外科學研究會、眼科學研究會等ハ專ラ該科ニ關スル事項ヲ研究スルヲ以テ目的トシ校友會各員ノ有志者ヨリ成ル

第四條　雜誌編輯係ニ於テハ醫學及藥學ニ關スル論說本校ノ現況會員ノ動靜等ヲ記載スル雜誌ヲ發行シテ一箇年三回以上會員ニ配付スルヲ以テ一期トシ該期間雜誌ヲ配付セサル時ハ將來ノ卒業生ニ於テ卒業ノ當時必ス出金スルノ義務アルモノトス

會員ハ斯道ニ關スル事項ハ勿論身分住所ノ異動等ヲ通信スルモノトス

雜誌原稿ヲ寄セラルヽ者ニハ其種類ニ依リ相當ノ報酬ヲ爲スヘシ」

元醫學部及本校卒業生ニシテ一時金參圓ヲ醵出スル者ハ三箇年ヲ

第五條　同級會ニハ委員若干名ヲ置キ會務ヲ處理セシメ細菌學研究會、外科學研究會、眼科學研究會等ハ別ニ定ムル所ノ細則ニ從ハシム」

雜誌編輯係ニハ編輯長一名ヲ置キ編輯長ハ會長ニ於テ教員中ノ一人ニ委囑シ部長總攬スルモ妨ケナシ)編輯員ノ

18/9/38

內二名ハ會員中ニ就キ編輯長之ヲ委囑シ五名ハ醫學科各學級ヨリ一名ヲ選出シ其任期ハ一箇年トシ再選スルコトヲ得史掌ハ會員ト雖トモ編輯長理事ニ合議ノ上推薦シ會長之ヲ採用ス但委囑編輯員ニハ若干ノ報酬金ヲ贈與シ史掌ニハ若干ノ手當金ヲ給ス

第六條　同級會、細菌學研究會、外科學研究會、眼科學研究會等ハ本部ヨリ補助金ヲ要セス

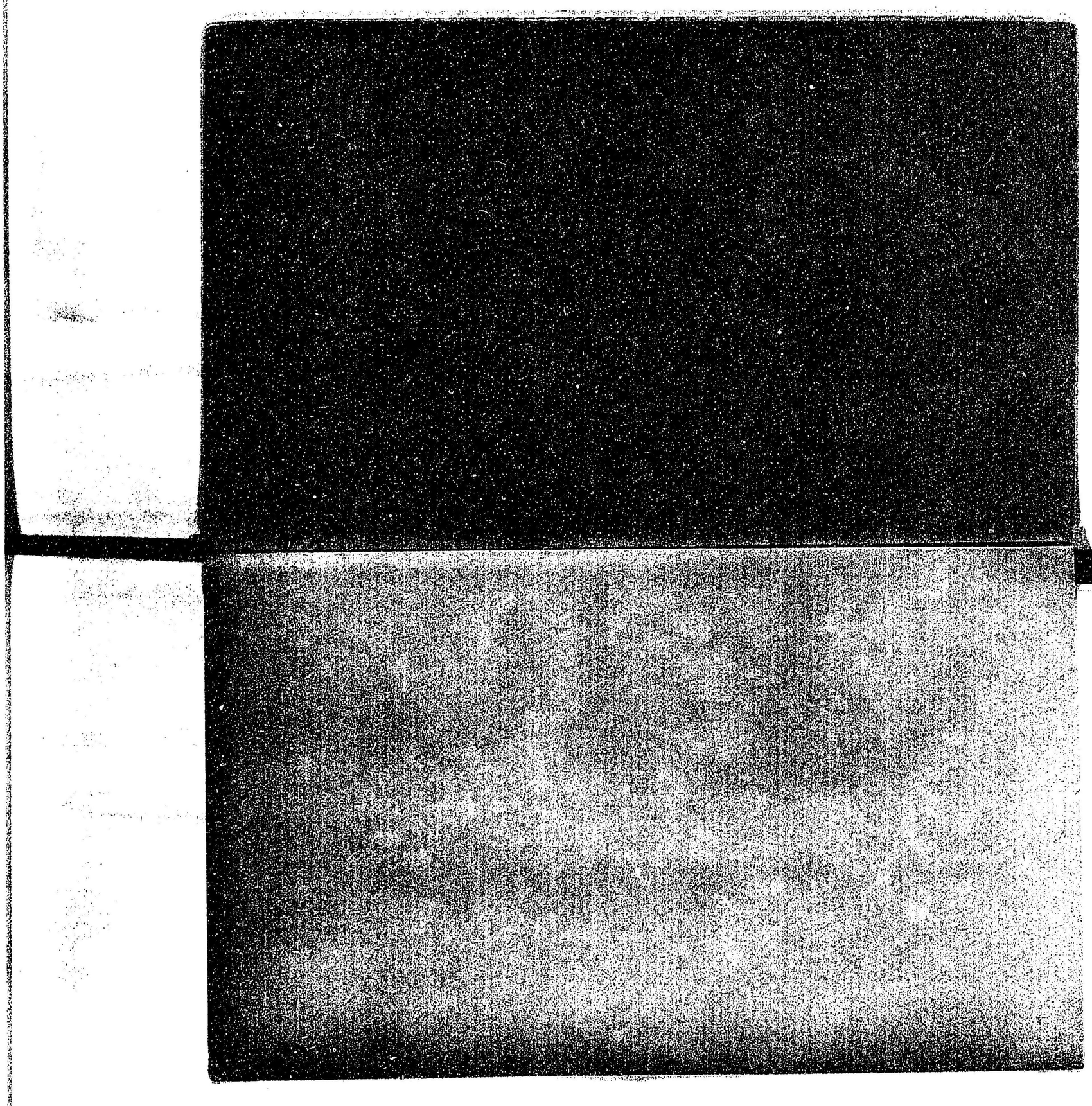
明治三十七年十二月十七日印刷
明治三十七年十二月二十日發行
（定價金貳拾五錢）

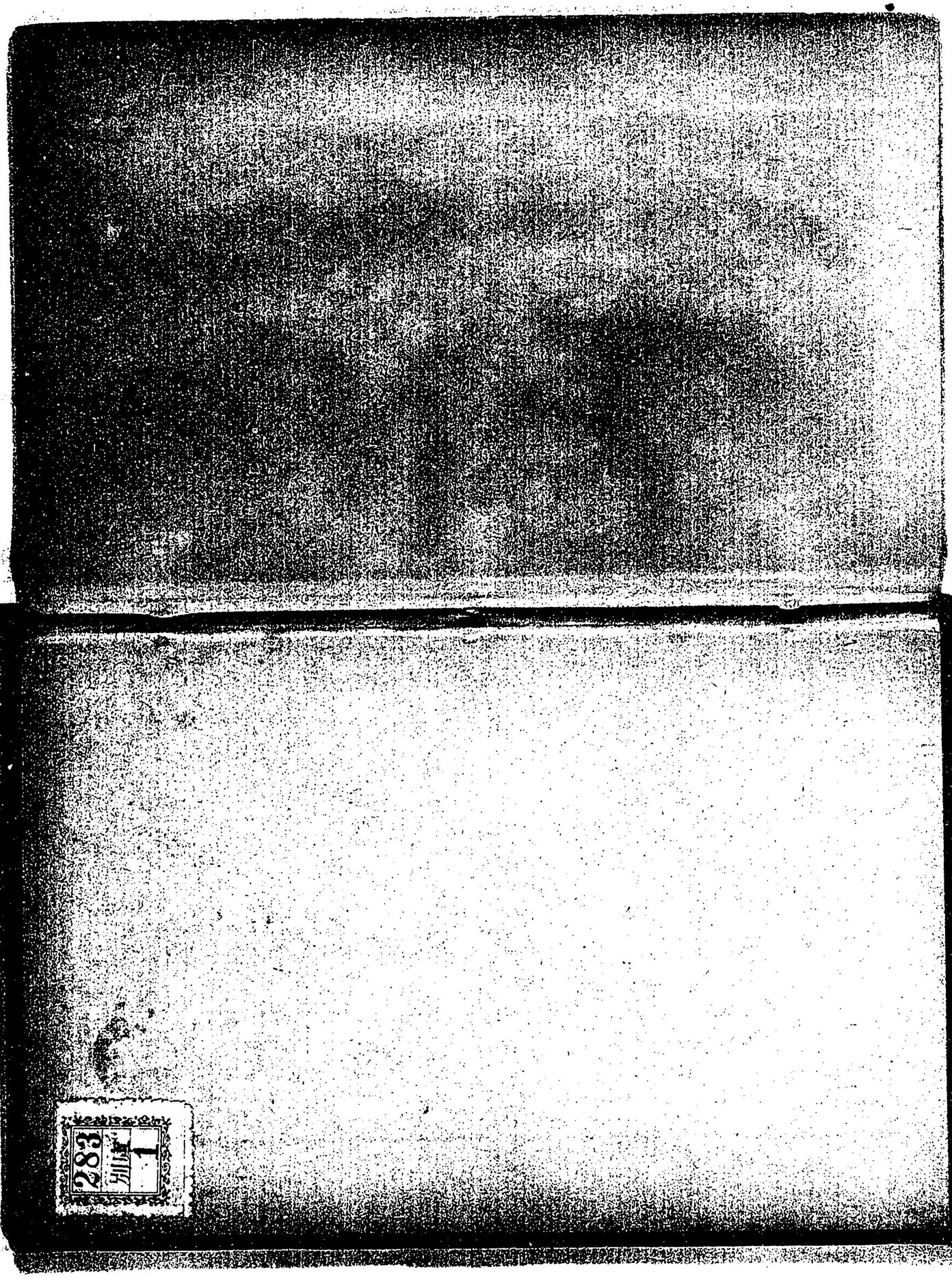
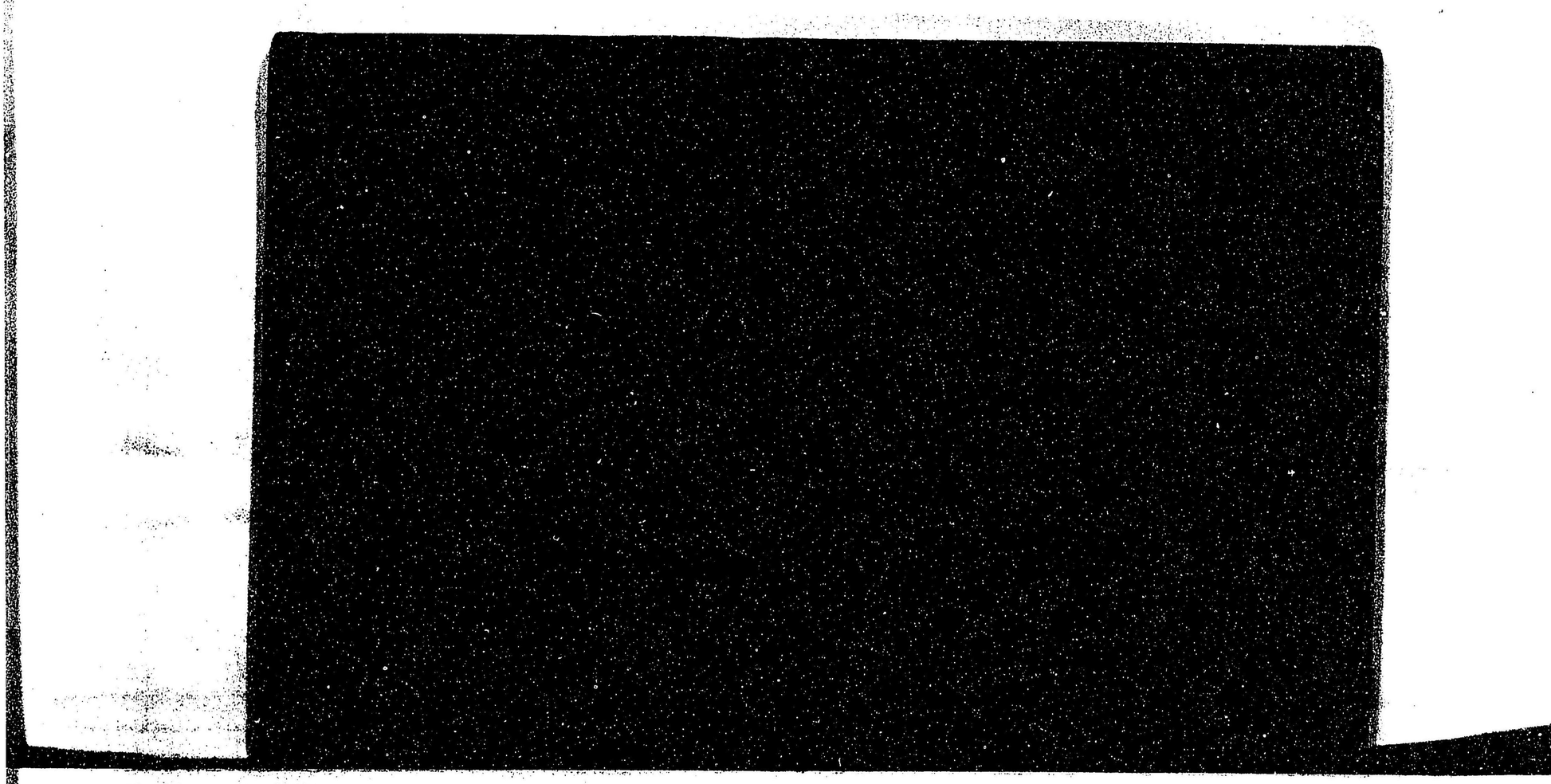
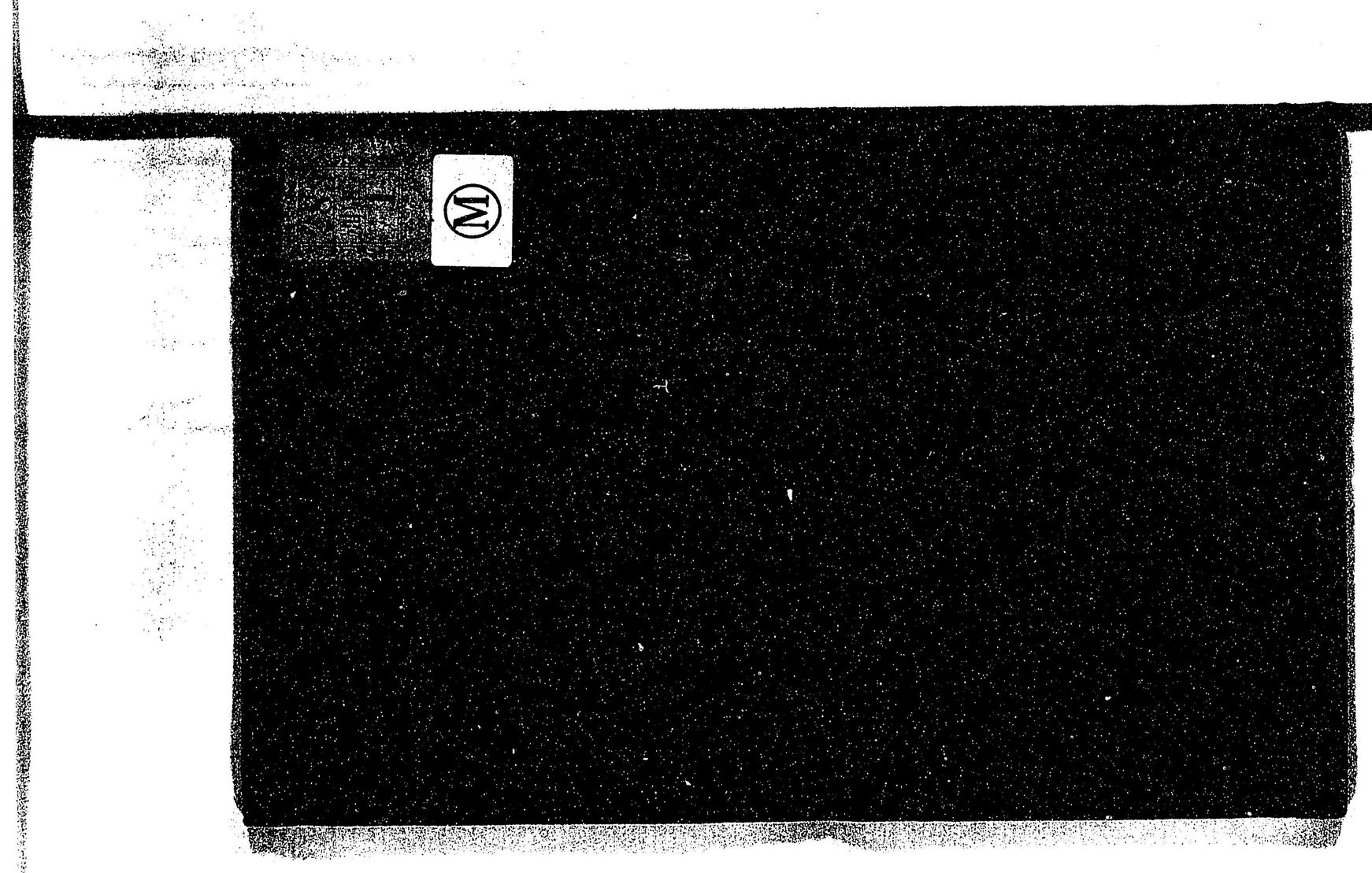
千葉醫學專門學校

印刷者　宇津木紋藏
千葉縣千葉郡千葉町
千葉市場四百六拾五番地

發賣捌所　寶山堂商店
千葉縣千葉郡千葉町
千葉市場四百六拾五番地

283
1




283
別冊 1